

市勢



57 第一六四
市勢一斑
昭和七年

廣島市

十六

昭和七年

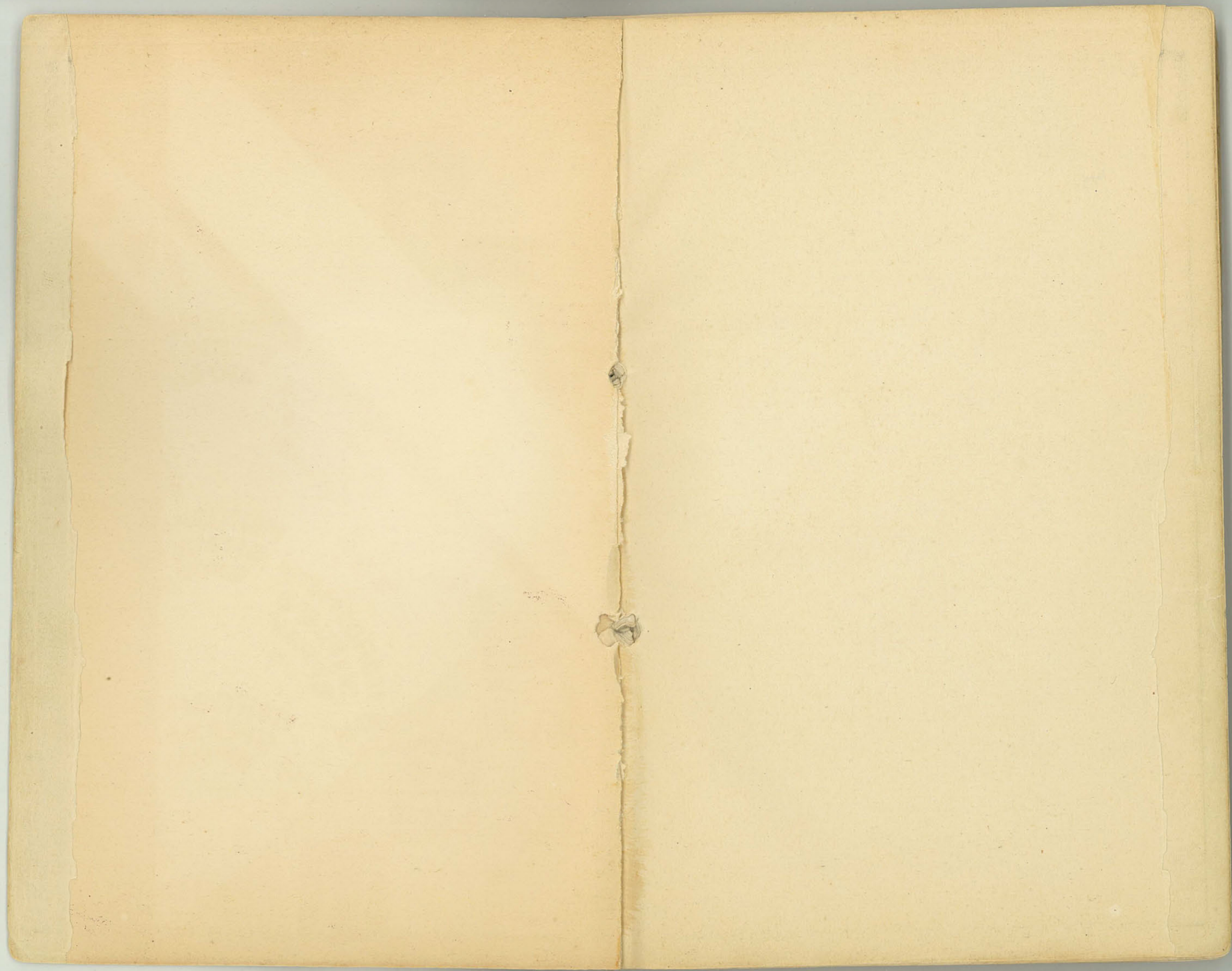
HOROSH
SHOSE
PPAN

HOROSH
SHOSE
PPAN

HOROSH
SHOSE
PPAN

HOROSH
SHOSE
PPAN





2

全
「
支

新
以
山

會
ッ
全

ニ
メ

置
圓

セ
始

メ
會
販
道

凡 例

◎本書ハ我廣島市ニ於ケル各種ノ状態ヲ概括的ニ
紹介センガ爲メ編纂シタルモノニシテ努メテ最
新ノモノヲ輯録セルモ統計的數字ハ昭和五年及
同年度ノ事實ヲ掲載セリ

◎本書中數量ハ千位及百方位ニ(・)ヲ、一位ニ滿
タザルモノハ(0)ヲ、調査ニ疑義アルモノハ(?)
ヲ附ス

目次

總	說	1
沿	革	1
廣	島市町名	2
氣	象	3
氣	候	3
土	地	5
位	置	5
地	勢	5
面	積	5
戶	數人口	6
戶	口	6
國	勢調查	7
職	業別	7
年	齡別	8
社	寺及宗教	8
學	事	9
上	水道	13
衛	生	15
警	察、裁判、警備、刑務	20
救	恤	21
商	工業	22
會	社	30
銀	行及金融	33
農	業	35

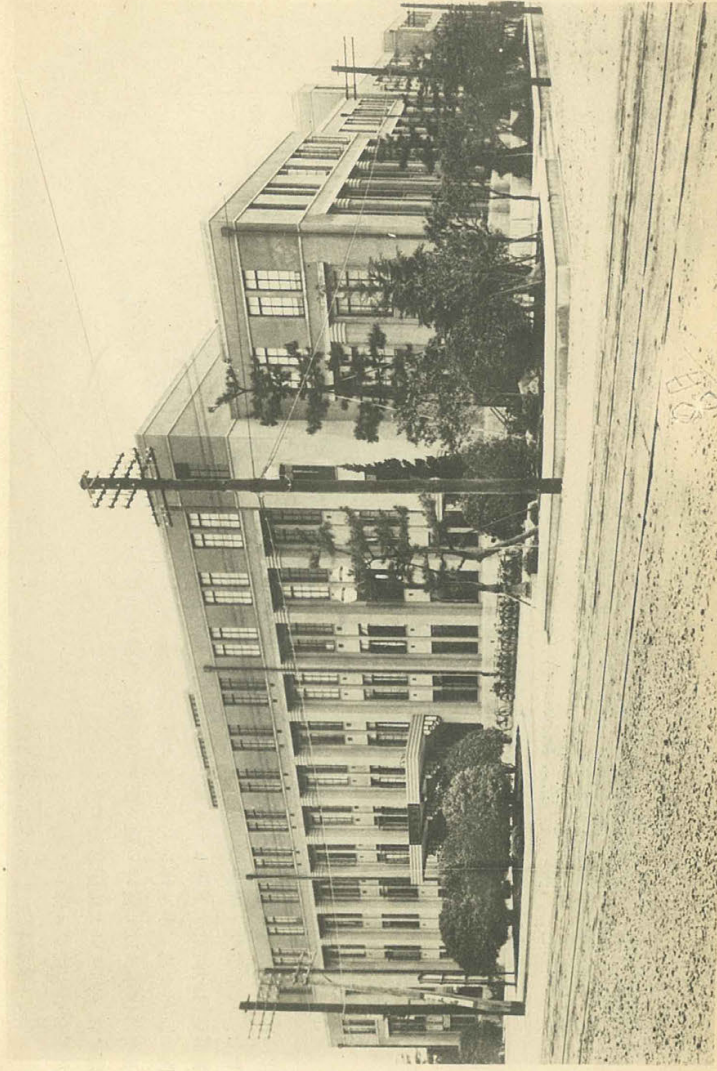
水	產	37
交	通	37
道	路	37
橋	梁	37
鐵	道	38
宮	島 電 車	38
廣	濱 電 車	38
軌	道	38
船	舶 (字品入港)	38
棧	橋 (通行人員)	38
市	會議員、職員、財政	40
	議 員、委 員	40
	市 吏 員	40
	財 政	41
官	公 衙 其 他	42
保	險	43
新	聞 社	44
名	所 舊 蹟	45
	廣 島 城 趾	45
	大 本 營 跡	45
	舊 御 便 殿	45
	饒 津 神 社	46
	東 照 宮	46
	國 泰 寺	46
	明 星 院	46
	誓 願 寺	47

本	派 本 願 寺 廣 島 別 院	47
國	前 寺	47
覺	法 寺	47
福	藏 寺	47
日	通 寺	48
不	動 院	47
泉	邸	48
旭	山 神 社	48
三	瀧ノ觀音	48
男	崎 神 社	49
比	治 山 公 園	49
江	波 山 公 園	49
大	內 越 道	49
三	本 松	49
高	須 桃 山	49
鶯	宿 園	50
城	山 古 壘	50
大	芝 公 園	50
八	勝 莊 園	50
太	宰 原 天 滿 宮	51
新	天 地	51
宇	品 山	51
廣	島 縣 廳	51
廣	島 市 廳	51
廣	島 縣 立 商 品 陳 列 所	51
廣	島 商 工 會 議 所	52

廣 島 市 屠 場	52
廣島市常設家畜市場	52
上水道水源地	52
廣島文理科大學	52
廣島高等師範學校	52
廣島高等工業學校	52
廣 島 高 等 學 校	52
廣島縣立女子專門學校	52
宇 品 港	52
千田男爵銅像	53
廣 島 驛	53
紙屋町電車交叉點附近	53
第一軍戰死者記念碑	53
本 川 橋	53
元 安 橋	53
御 幸 橋	53
廣島縣立廣島工業試驗場	54
廣島縣立農事試驗場已斐分場	54
廣島縣立水產試驗場草津支場	54
廣島市立衛生試驗所	54
名 物 及 物 產	54
牡 蠣	54
海 苔	55
柿	55
鮎	55
廣 島 菜	55

白 魚	55
罐 詰	55
足 袋	55
染 手 拭	55
晒木綿及染地類	56
簞 笥	56
傘	56
縫 針	56
建 具	57
紡 績 綿 絲	57
人 造 絹 絲	57
護 謨 製 品	57
製 綿	57
菓 子	58
燐 寸	58
清 酒	59
洋 服	60
里 程 表 (附急行料)	61

廣 島 市 廳



國泰寺町ニ在リ昭和三年ノ建築ニ係リ同四年四月中島瀬町ヨリ移轉ス
(廣島驛ヨリ約三、一六四米)

大本營跡

元廣島城本丸跡ニ建テラレタル第五師團司令部ヲ明治
二十七、八年戰役ノ際大本營竝ニ行在所ニ充テサセラ
レシ遺跡ナリ

規定ヲ設ケテ拜觀ヲ許サル

(廣島驛ヨリ二、五〇九米)

舊御便殿

比治山公園内眺望絶佳ノ地ニ位シ結構壯麗ナリ明治二
十七、八年戰役ノ際廣島ニ開カレタル臨時帝國議會假
議事堂内御便殿ヲ下賜セラレ此ニ宮殿型ナル上覆ノ建
物ヲ設ケテ其ノ中ニ移シタルモノナリ
玉座御物等ヲ以テ當時ノ狀ヲ想アベシ規定ヲ設ケテ拜
觀ヲ許ス側ニ御大禮記念館アリ
大正七年ノ建設ニ係レリ

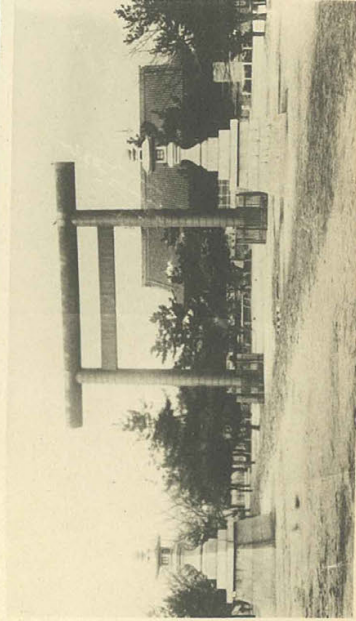
(廣島驛ヨリ一、八五五米)

廣島城跡

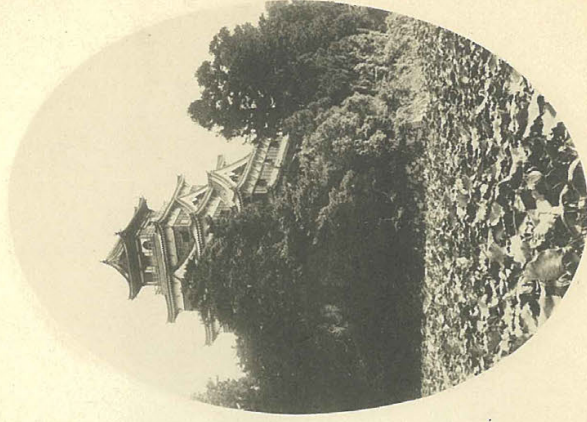
天正年間毛利輝元ノ築城ニ係リ明治
四年鎮西鎮臺第一分營ヲ置キ現ニ第
五師團師令部タリ天主閣ハ五層ニシ
テ東西十二間南北九間高サ十七間ア
リテ高ク空中ニ聳ニ壯觀ヲ呈ス
(廣島驛ヨリ二、五〇九米)



大本營跡



舊御便殿



廣島城跡

廣島高等工業學校

千田町ニ在リ大正九年一月ノ開校ニシテ規模頗ル
壯大ナリ

(廣島驛ヨリ約四、八〇〇米)

廣島文理科大学并 廣島高等師範學校

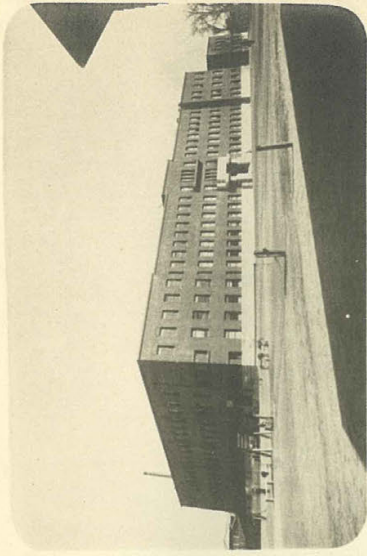
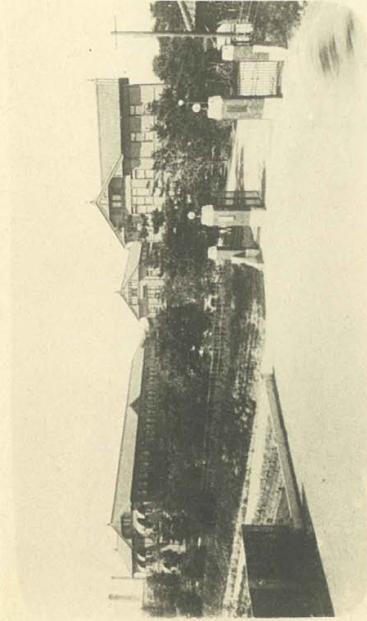
千田町ニ在リ廣島高等師範學校ハ明治三十五年廣
島文理科大学ハ昭和四年ノ開校ニシテ規模頗ル宏
大ナリ校内ニ附屬中學校同小學校及圖書館等在リ
(廣島驛ヨリ四、一四五米)

廣島高等學校

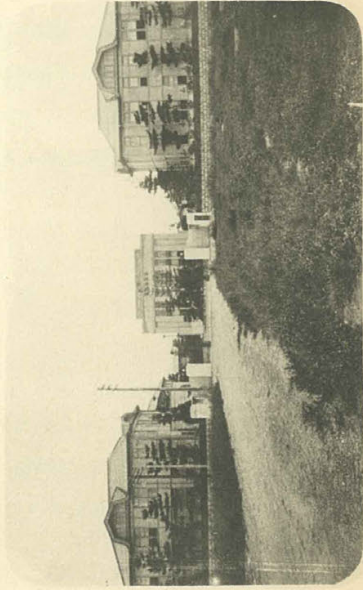
皆實町ニ在リ大正十三年十二月十日ノ創立ニシテ
規模頗ル壯大ナリ

(廣島驛ヨリ約二、一八二米)

廣島高等工業學校



廣島文理科大学并廣島高等師範學校



廣島高等學校



東 照 宮

繞津神社ノ東方五町餘尾長山ノ半腹ニアリ徳川家
康ノ靈ヲ祀ル宮殿ハ正保三年藩主淺野光晟之ヲ創
建セリ

(廣島驛ヨリ約一、〇九〇米)

國 泰 寺 (曹洞宗)

小町白神社ノ東隣ニアリ僧惠瓊ノ開基ニ係リ曹洞
宗ノ古刹ニシテ境内廣ク寺後ニ淺野家累代ノ墳墓
アリ

(廣島驛ヨリ約二、七二七米)

明 星 院 (眞言宗 御室派)

大須賀町二葉山南麓ニアリ天正十七年毛利氏ノ建
立後淺野氏ノ祈願所ニシテ境内櫻樹多シ

(廣島驛ヨリ約一、三〇九米)

東
照
宮



國
泰
寺



明
星
院



饒津神社

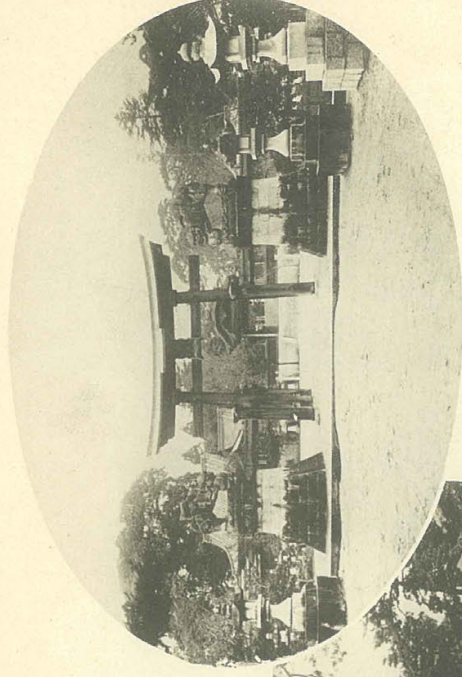
二葉山ノ麓ニ在リリリ舊藩主淺野氏ノ祖贈從三位
 彈正少弼淺野長政夫妻ヲ祭ル天保六年ノ造營
 ニシテ結構壯麗ナリ境内ハ大樹鬱蒼トシテ太
 田川ノ清流ニ臨ミ風景絶佳ナリ

(廣島驛ヨリ一、三〇九米)

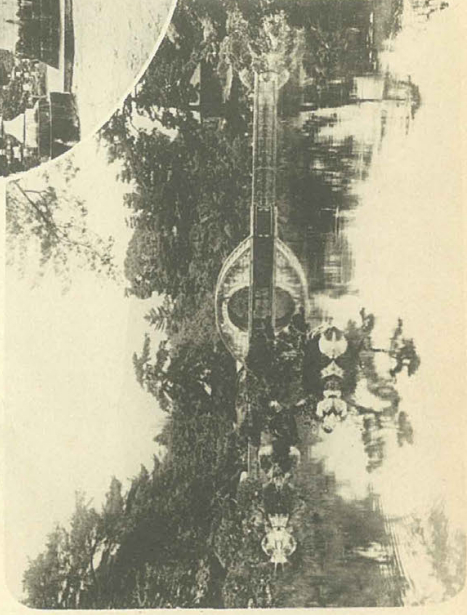
泉邸

上流川町ニ在リ舊藩主淺野家別邸ニシテ庭園
 ハ支那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮景園ト號
 ス廣サ四町歩ニ餘リ景致多趣ノ名園タリ又明
 治二十七年車駕行幸アリ構内ニ觀古館アリ同
 家ノ什器ヲ陳列シテ一般ノ觀覽ニ供ス

(廣島驛ヨリ九八二米)



饒津神社



泉邸

比治山公園

市ノ東邊ニ位シ之ニ登レバ七萬ノ粉壁指顧ノ
中ニ在リテ宇品灣頭ノ出入船釣魚採貝ノ狀歷
然トシテ眼眸ニ入り風雅ノ士ヲシテ吟懷ヲ恣
ニスルヲ得セシム

(廣島驛ヨル一、八五五米)



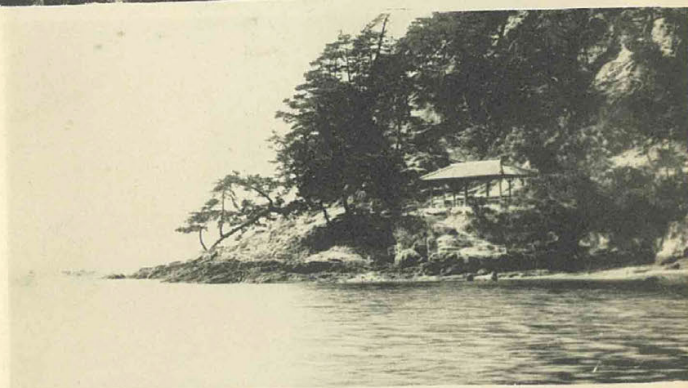
比治山公園

江波山公園

市ノ南端ニ在リ古松緑滴ラントス其ノ頂ニ立
テバ藝豫ノ島嶼ヲ一眸中ニ收メ眺望頗ル佳ナ
リ嚴島モ亦遙カニ相呼應ス

(廣島驛ヨリ約五、八九一米)

江波山公園



廣島地方裁判所

三川町ニ在リ

(廣島驛ヨリ約二、二九一米)



廣島地方裁判所

第一軍戦死者記念碑

西線兵場ニ在リ明治二十七八年戦役

戦死者七二六名ニ對スル記念碑ニシ

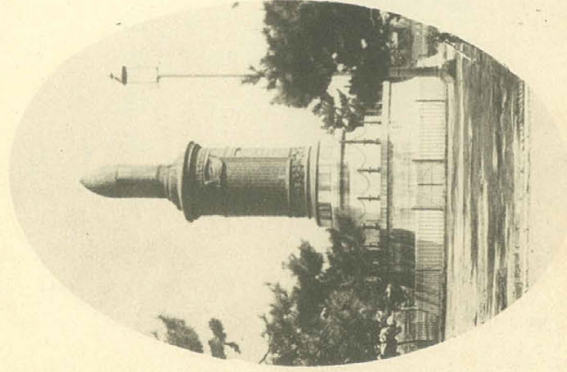
テ明治三十三年ノ建設ニ係レリ

(廣島驛ヨリ約二、二九一米)

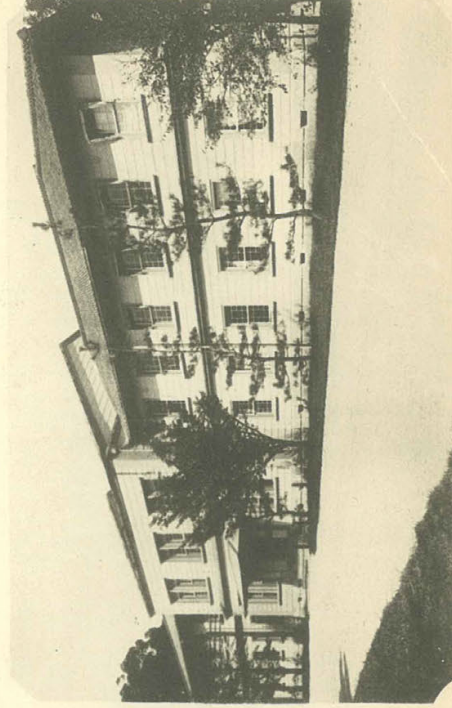
第五師團司令部

基町ニ在リ

(廣島驛ヨリ約二、〇七三米)



第一軍戦死者記念碑



第五師團司令部

廣 島 縣 廳

明治十一年ノ建築ニ係リ廣島縣會議事堂ト相

並ビテ水主町ニアリ

(廣島驛ヨリ三、二七三米)

廣 島 控 訴 院

小 町 ニ 在 リ

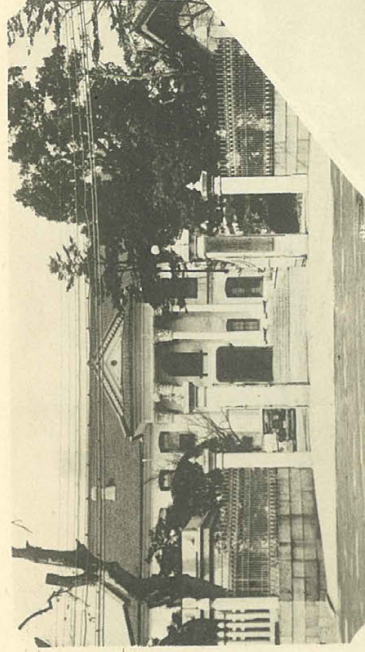
(廣島驛ヨリ約二、七二七米)

放 送 局

上流川町ニ在リ昭和二年五月ノ創設

ニ係レリ

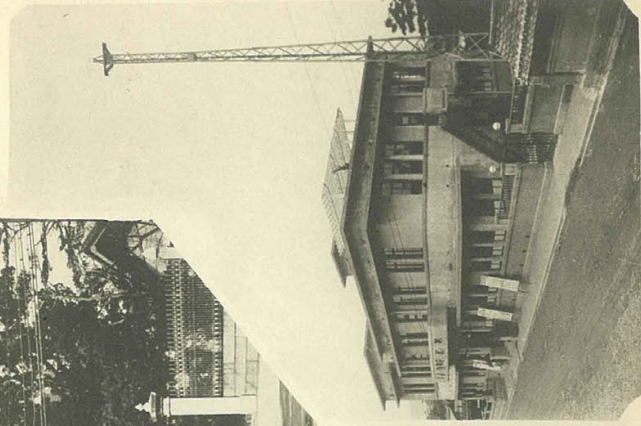
(廣島驛ヨリ約一、二〇〇米)



廣 島 縣 廳



廣 島 控 訴 院



廣 島 放 送 局

廣 島 驛

大須賀町ニ在リ大正九年一月起工シ
同十一年八月竣成ス工費約五十二萬
圓ヲ要シ外觀ノ美、内部ノ整備セル
コト中國稀ニ見ル偉觀タリ

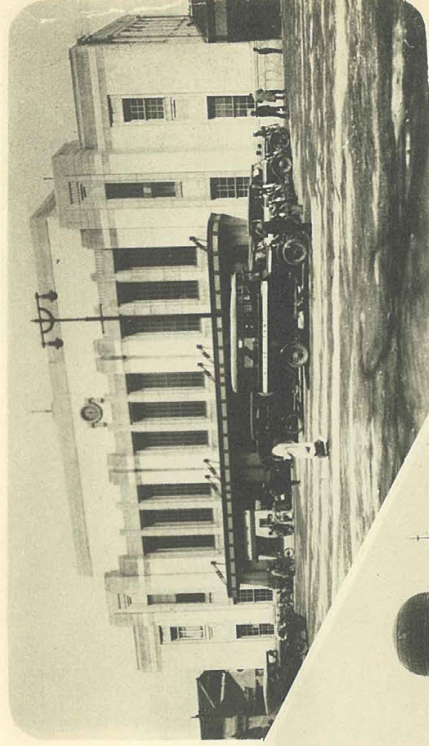
廣島縣立商品陳列所

猿樂町ニ在リ大正四年五月ノ創設ニ
シテ結構宏壯ナリ

(廣島驛ヨリ二、七二七米)

廣島商工會議所

猿樂町ニ在リ明治二十四年
三月ノ設立ニシテ同四十年
一月ノ新築ニ係レリ
(廣島驛ヨリ二、七二七米)



廣 島 驛

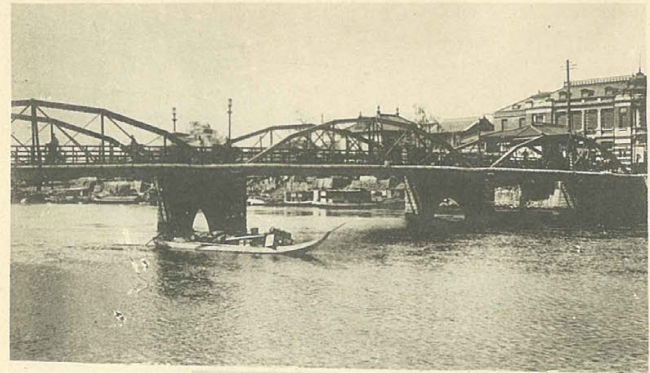


廣島縣立商品陳列所及商工會議所

本 川 橋

中島本町ヨリ塚本町ニ架設セル鐵橋ニシテ天
正年間加藤(名ハ兼鎮)猫屋九郎右衛門之ヲ架
設シ子女十二名ト共ニ渡初ヲナシタルニ依リ
猫屋橋トモ呼ブ

(廣島驛ヨリ約三、〇五五米)



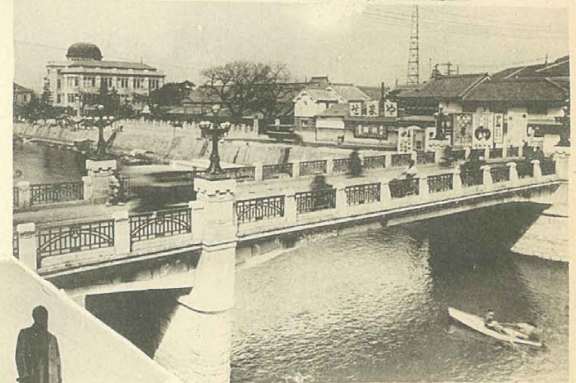
本
川
橋

元 安 橋

市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル橋梁ニシ
テ工費七萬二千圓ヲ要シ壯觀ニシテ堅牢ヲ主
トセリ

(廣島驛ヨリ約二、七二七米)

元
安
橋



千
田
男
爵
銅
像

千田男爵銅像

宇品町ニ在リ時ノ縣令千田貞曉
築港ヲ計畫シ工事ニ六ケ年ヲ要
セリ之ガ竣成ヲ記念スル爲メ大
正四年十一月三日建設ス

(廣島驛ヨリ約二、二九一米)

御幸橋

市内千田町ヨリ皆實町ニ架設セラレ工費四十
萬圓、幅二十二米、長百六十二米四、兩側ニ
人道中央ニ車道ヲ有シ堅牢壯觀ヲ極ム

(廣島驛ヨリ約二、〇七三米)

宇品港及市營棧橋

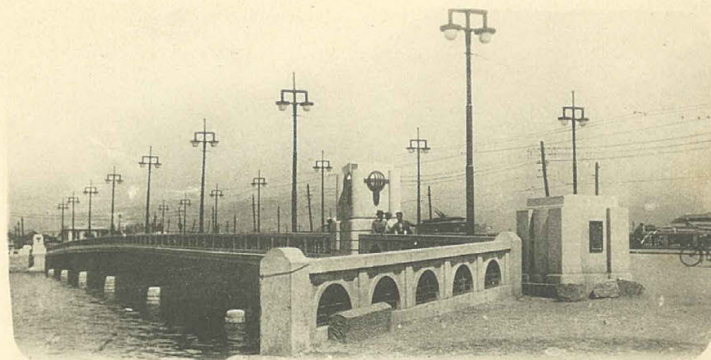
市ノ南端ニ位シ良港トシテ其ノ名ヲ知ラレ時
ノ縣令千田貞曉氏ノ計畫ニ依リ明治十七年築
港ノ工ヲ起シ同二十二年完成ス、明治十八年
聖上巡幸シテ工事ヲ禱ハセ給ヒシニ依リ本街
道ヲ御幸通ト稱ス

(廣島驛ヨリ五、七八二米)

陸軍運輸部

宇品町ニ在リ

(廣島驛ヨリ六、一〇九米)



御幸橋



宇品港及市營棧橋



陸軍運輸部

廣島市立高等女學校

船入町ニ在リ大正十年四月ノ

創立ニ係レリ

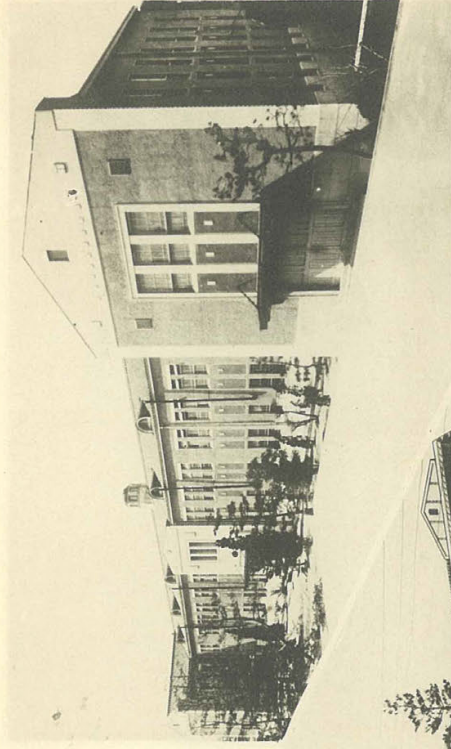
(廣島驛ヨリ約五、二三六米)

廣島市立商業學校

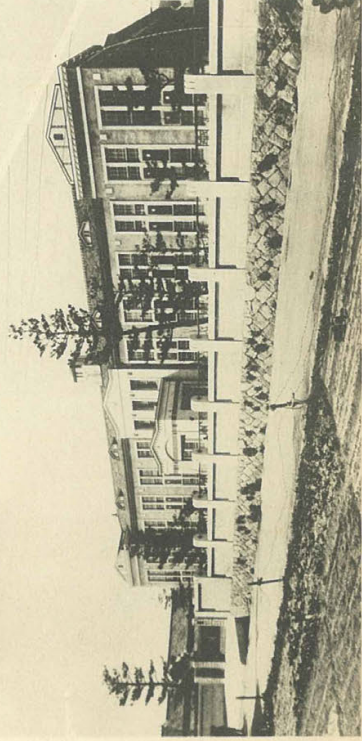
觀音町ニ在リ大正十年四月ノ

創立ニ係レリ

(廣島驛ヨリ約五、四五四米)



廣島市立高等女學校



廣島市立商業學校

上水道水源地

牛田町ニ在リ明治三十一年八月通水式ヲ舉ゲ
 工費六十六萬圓ヲ要シ爾來機關ヲ増設シ給水
 成績良好ナルコト全國水道中稀ニ見ル所ナリ
 (廣島驛ヨリ三、三八二米)

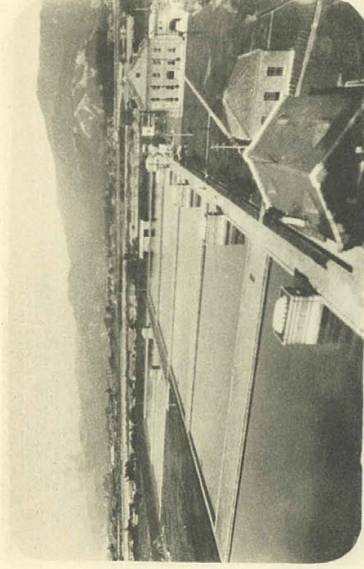
廣島市常設家畜市場

福島町ニ在リ市營ニシテ大正三年一月開場セ
 リ其ノ建築物ノ宏大ナル屠場ニ亞グ壯觀ヲ呈
 セリ

(廣島驛ヨリ四、四七三米)

廣島市屠場

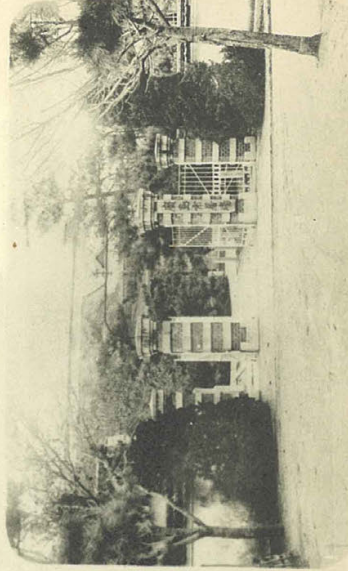
福島町南端ニ在リ本市ノ經營ニ係リ煉瓦、石
 造ニシテ諸機械器具ハ總テ獨逸製ヲ使用セリ
 外觀ノ壯麗内部ノ整肅俱ニ全國第一ノ稱アリ
 (廣島驛ヨリ三、九二七米)



上水道水源地



廣島市常設家畜市場



廣島市屠場

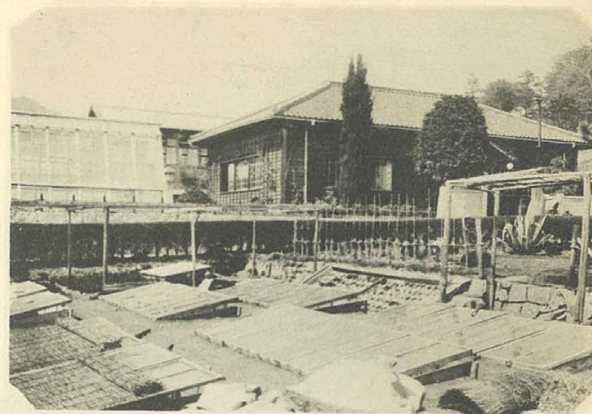
廣島縣農事試驗場己斐分場

明治三十五年己斐町ニ本場トシテ創立セ

ラル 明治四十三年四月分場トナル・

(廣島驛ヨリ五、七五六米)

廣島縣農事試驗場己斐分場



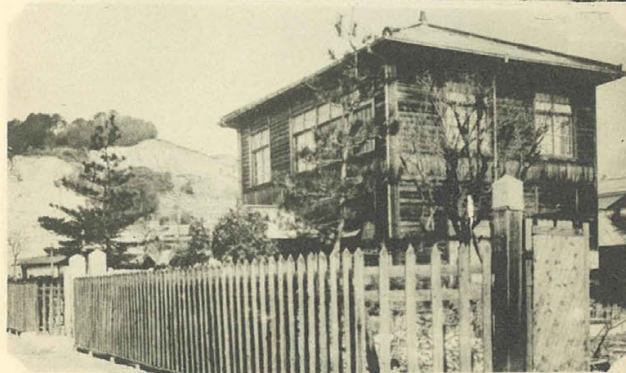
廣島縣水産試験場草津支場

大正十二年十二月草津町西南岸ニ創設セ

ラル

(廣島驛ヨリ八、一四一米)

廣島縣水産試験場草津支場



廣島縣廣島工業試験場

大正八年東白鳥町ニ設置セラル

(廣島驛ヨリ一、二一一米)

廣島縣廣島工業試験場



廣島市立衛生試験場

大正十五年一月 船入町ニ設置セラル

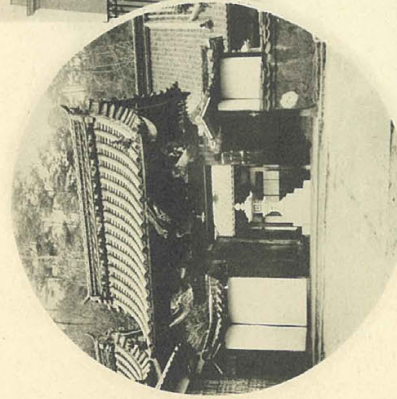
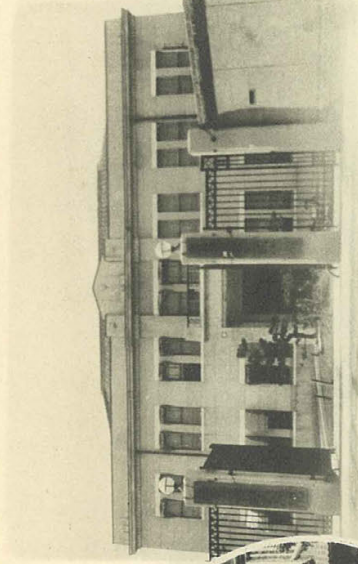
覺法寺 (眞宗)

矢賀町ニ在リ往古眞言宗ニシテ中古
 焼失シ建立年月不詳ナルモ慶長元年
 時ノ住職改宗セシモノナリ
 (廣島驛ヨリ二、六六五米)

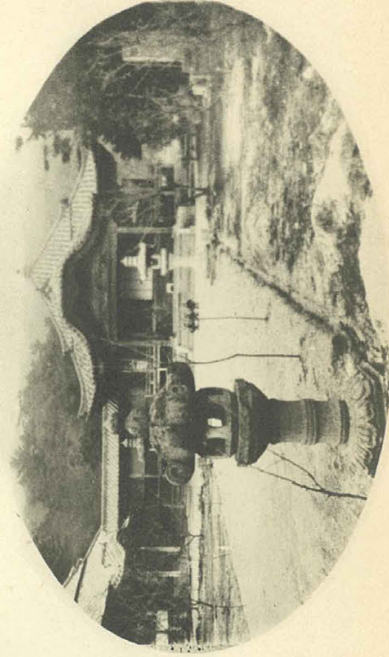
日通寺 (日蓮宗)

牛田町ニ在リ舊藩主淺野長綱公志願ニ依
 リ元禄五年賀茂郡國近村阿彌陀寺ヲ引移
 シ改號ノ上菩提所トセシモノナリ
 (廣島驛ヨリ三、三九二米)

廣島市立衛生試験場



覺法寺 (眞宗)



日通寺 (日蓮宗)

不動院 (眞言宗)

牛田町ニ在リ行基菩薩ノ作ニシテ北朝人皇第

九十七代光明天皇朝額ニ依リ利生塔御建立ノ所

ナリ、傳來ノ梵鐘ハ國寶ニ指定セララル

(廣島驛ヨリ四、三〇五米)

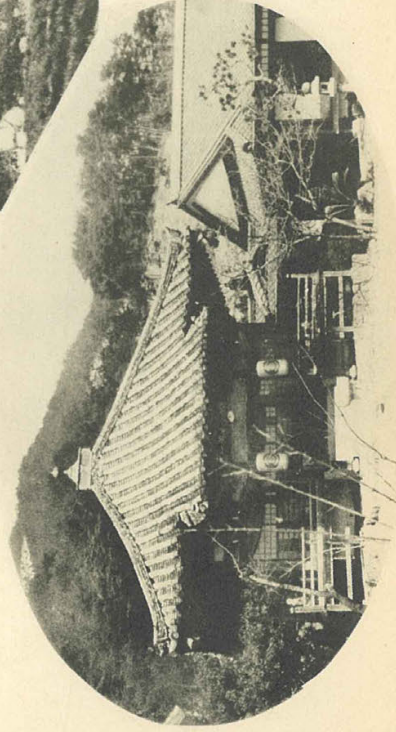
福藏寺

古田町ニ在リ本尊地藏菩薩ハ僧行基ノ作ニシ
テ孕婦ヲ護ルトテ尊信スルモノ多シ、境内ニ
ハ五輪石塔及石碑アリ「蒲冠者範額之墓享保
十八年淺野直道造立」ト彫刻セリ

(廣島驛ヨリ八、一二一米)



不動院 (眞言宗)



福藏寺

旭 山 神 社

己斐町ニ在リ八幡宮ニシテ毛利元就ノ初稱
ヨリ旭山神社ト稱ス、社内ニハ有栖川宮熈
仁親王殿下御眞筆ニテ「旭山神社」ノ奉納
額アリ、境内櫻樹數百本眺望絶佳ナリ

(廣島驛ヨリ五、六三六米)

三 瀧 觀 音

三篠町ニ在リ僧空海自然石
ニ聖觀音ノ梵字ヲ彫刻サレ
シヲ本尊トス、觀音ノ靈驗
著シトテ參詣者尠カラズ且
鬱蒼タル樹間青苔ノ蒸ス邊
リ三對ノ瀧アリ三瀧ト云フ
(廣島驛ヨリ四、八四七米)

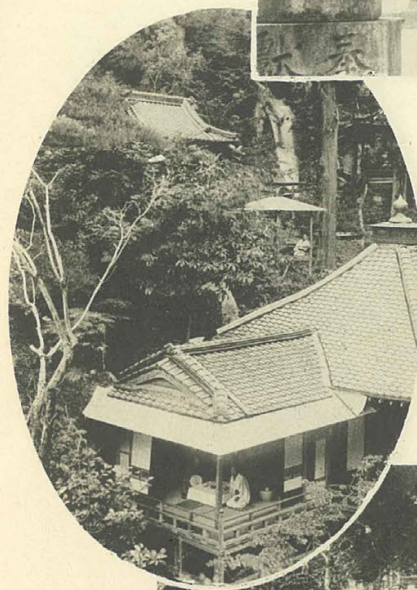
男 崎 神 社

矢賀町ニ在リ

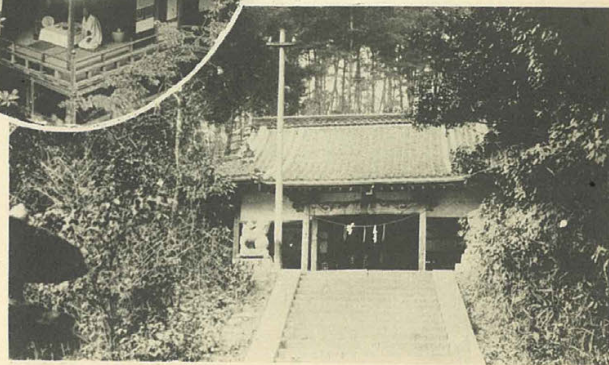
(廣島驛ヨリ三、一五二米)



旭 山 神 社



三 瀧 観 音



男 崎 神 社

鶯宿園 (草津梅林)

草津町ニ在リ園内ニハ老梅千數百本紅白
濃淡媚妍ノ茶寮ハ其ノ間ニ點綴シ眼下ニ
展開セル内海ノ美景觀賞措ク能ハズ詩人
墨客杖ヲ曳クモノ絶エズ

(廣島驛ヨリ八、七二七米)

高須桃山

古田町ニ在リ老木二十萬本餘ヲ數ヘ春風
訪レバ萬山紅花ト化シ詩趣津々トシテ其
ノ風致絶佳ナルコト筆舌ニ委セズ遊園地
トシテ最適地ナリ

(廣島驛ヨリ八、六六五米)



鶯宿園 (草津梅林)



高須桃山

八 勝 莊 園 (向洋梅林)

仁保町赤田山ノ東端ニ在リ梅樹數百株ヲ
栽フ開花馥郁トシ瀬戸内海ノ景致ト相待
チテ感興ヲソ、リ眺望絶佳ナリ

(廣島驛ヨリ四、六六五米)



八勝莊園 (向洋梅林)

大 芝 公 園

三篠町ノ東端ニアリ前面ハ太田川ノ清流
ニ臨ミ坦々タル沃野ヲ後ニ控ヘ身心自ラ
爽快ヲ覺ユ、陽春ニ至ラバ櫻花爛漫トシ
テ水都ニフサワシキ公園ノ一ナリ

(廣島驛ヨリ三、四五四米)

大
芝
公
園



城 山 古 壘

仁保町ニアリ城主詳ビラカナラズト雖モ
戰國時代ハ軍事上極メテ樞要ノ地ナリシ
ト云フ、然レドモ今ハ往古ヨリノ傳記ニ
依リ其ノ片影ヲ偲ブニ過ギズ

(廣島驛ヨリ三、七五六米)



城
山
古
壘

總 說

沿革——本市ハ往昔五箇庄ト稱セシガ天正十七年毛利輝元此地ニ築城シテ廣島ト改稱セリト云フ而シテ毛利氏ハ當時陰陽十州ヲ領シ廣島ハ其治所ナリシカバ將士ノ邸宅及商工ノ住宅等頓ニ増加セリ毛利氏ハ百六十萬石ヲ領セシガ慶長五年削封セラレ長門周防ニ移ル福島正則其後ヲ襲ヒ尾張清洲ヨリ入城シ五十萬石ヲ領セリ二十年ノ後又削封セラレ元和五年信濃ニ移サル同年八月淺野長晟之ニ代ル其領封四十二萬六千石ニシテ安藝一圓及備後八郡ヲ領シ紀伊ヨリ入城シ爾來淺野氏十二世ノ藩治實ニ二百五十餘年ヲ經テ明治二年六月十七日淺野氏版籍ヲ奉還ス明治四年廢藩置縣ト共ニ沼田郡江波村ヲ我管轄ニ移シテ總テヲ四區ニ分チ後又一大區トナシ之ヲ十二小區ニ分チ其間多少ノ變革アルモ區長、副區長、戸長、副戸長等ヲ置キテ本市ノ行政ヲ執レリ明治十一年十一月郡區編制ニ際シ庚午新開ヲ佐伯郡ノ管轄ニ移シテ廣島區トナシ區役所ヲ大手筋一丁目ニ設ケ後中島新町ニ移リ區長戸長以下吏員ヲ置キ縣廳ニ直屬シテ市政ヲ執レリ明治二十二年築港竣成ニ依リテ宇品町ヲ創設同年四月市政實施ト共ニ市役所ト改メ市會議員三十六名市長助役名譽職市參事會員六名ノ諸機關ヲ備ヘ行政區域ハ明治三十七年十月十六日安藝郡仁保島村ノ一部ヲ割キテ本市ニ編入シ元宇品町ト稱シ其他ハ淺野氏版籍奉還當時ト異ナルコトナシ而シテ明治四十年三月二十三日大須賀村ヲ大須賀町ニ川添村ヲ福島町ニ改メ大正五年七月一日國泰寺村ヲ國泰寺町及千田町ノ二ケ町トシ其他十二ケ村ヲ總テ町名ニ改メタリ

明治二十七八年戰役起ルヤ大森ヲ本市ニ進メサセ給ヒ第五師團司令部内ニ大本營ヲ置キ市内ヲ臨戰地境トセラレ諸多ノ軍隊此ノ地ニ雲集セリ降テ同三十三年同三十七八年及大正三年乃至同九年戰役ニ於テモ毎ニ軍隊出入ノ要地トナレリ

昭和四年四月一日隣接七ケ町村（佐伯郡已斐町、古田村、草津町、安佐郡三篠町、安藝郡牛田村、矢賀村、仁保村）ノ合併ヲ行ヒ村ヲ町ト改稱ス各合併町ニハ出張所ヲ設置シ諸般ノ事務ヲナサシメ議員定數四十四名トナレリ

廣島市町名

尾長町	愛宕町	大須賀町	猿猴橋町
荒神町	蟹屋町	大須町	東新開町
段原町	皆實町	宇品町	元宇品町
的場町	金屋町	比治山町	土手町
松川町	稻荷町	京橋町	臺屋町
白島中町	白島西中町	白島東中町	白島北町
白島九軒町	東白島町	西白島町	基町
橋本町	石見屋町	上柳町	山口町
銀山町	東引御堂町	斜屋町	幟町
上流川町	鐵砲町	八丁堀	胡町
堀川町	三川町	下流川町	藥研堀
下柳町	平塚町	田中町	竹屋町
南竹屋町	立町	東魚屋町	研屋町
平田屋町	播磨屋町	革屋町	鐵砲屋町
新川場町	中町	下中町	西魚屋町
袋町	小町	尾道町	鹽屋町
紙屋町	猿樂町	大手町一丁目	同二丁目
同三丁目	同四丁目	同五丁目	同六丁目
同七丁目	同八丁目	同九丁目	國泰寺町
千田町	細工町	横町	鳥屋町
中島本町	天神町	材木町	元柳町
木挽町	中島新町	水主町	吉島町
寺町	西引御堂町	空鞆町	鷹匠町
十日市町	西九軒町	左官町	鍛冶屋町
油屋町	塚本町	猫屋町	西大工町
榎町	堺町一丁目	同二丁目	同三丁目

同四丁目	西地方町	西新町	小網町
河原町	船入町	江波町	廣瀬町
觀音町	天満町	福島町	仁保町
三篠町	矢賀町	牛田町	己斐町
古田町	草津町	(計百二十二箇町)	

氣 象

氣 候——本市ハ氣温概シテ中和ニシテ昭和五年中平均氣温ハ十五度三分ニシテ昨年及ビ平年ニ比シ何レモ零度五分高ク最高氣温ノ極ハ七月三十日ノ三十六度六分最低氣温ノ極ハ二月十八日ノ零下二度六分ナリ累年平均氣温ヲ見ルニ十四度八分ニシテ既往ニ於ケル最高氣温ノ極ハ大正十三年八月五日ノ三十八度一分最低氣温ノ極ハ大正六年十二月二十八日ノ零下八度六分ヲ以テ最トス

昭和五年中ニ於ケル降水量ハ千二百九十一耗ニシテ昨年ヨリハ二百九十九耗多ク平年ヨリハ二百五十耗寡少ナリ月別最多降水量ハ六月ノ二百七十耗ニシテ一日ノ降水量最モ多キハ八月十三日ノ百三十四耗ナリ降水日數ハ百廿八日ヲ數ヘ平年降水量ハ千五百四十一耗降水日數ハ百三十六日ニシテ既往ニ於ケル一日ノ最多降水量ハ大正十五年九月十一日ノ三百四十耗ナリ昭和五年度初霜ハ十一月十四日(平年ヨリ二日昨年ヨリ五日早シ)初雪ハ十一月十二日(平年ヨリ二十八日昨年ヨリ五十四日早シ)終雪ハ翌年四月八日(平年ヨリ廿三日昨年ヨリ二十九日晚シ)終霜ハ翌年四月九日(平年ヨリ一日昨年ヨリ六日晚シ)ニシテ降雪ノ最深ハ昭和六年二月十日ノ二十一種ニヲ測レリ(霜及雪ハ昭和五年ヨリ六年ニ互ル寒候期ニ依ル)

昭和五年ニ於ケル平均濕度ハ七十四%ニシテ平年及昨年ト同數ニシテ最モ乾燥セルハ五月ノ七十二%ナリ濕度最小極ハ四月廿七日ノ廿五%ナリ一般ニ風弱ク昭和五年中平均風速度ハ一米/秒四ニシテ暴風日數ハ一日モ無カリキ、風向ハ夏期ハ南西ノ風多ク冬期ハ北西ノ風多シ然シ平穩ナル時ハ

年中日中ハ南西ノ風ニシテ夜間ハ北ノ風トナル

昭和五年中ニ於ケル快晴（満天全ク雲ナキカ若シクハ満天ヲ十分シ平均雲量十分ノ二ニ充タザル日）ハ四十八日ニシテ昨年ヨリハ一日平年ヨリハ十日多シ

昭和五年ノ地震回数ハ十四回ニシテ昨年ヨリハ六回多ク四回ハ弱震ニシテ其他ハ微震ナリ

月次	氣 溫			湿度 平均	風速 平均	地震 回数	天 氣 日 數			降 水 量
	平均	最高	最低				快晴	曇天	降水	
一 月	3.6	13.2	2.1	74	1.4	—	2	8	6	26.9
二 月	6.0	20.2	2.6	74	1.3	—	2	12	12	88.7
三 月	9.0	22.3	1.4	73	1.7	2	4	15	14	128.1
四 月	14.2	24.5	1.1	75	1.5	2	4	13	15	150.1
五 月	18.2	29.2	6.4	72	1.3	—	4	12	10	70.1
六 月	21.9	30.7	13.3	75	1.3	—	—	16	16	269.6
七 月	28.1	36.6	21.6	75	1.4	—	5	10	10	35.3
八 月	27.8	35.8	21.7	75	1.5	—	4	9	9	258.4
九 月	22.1	32.1	8.9	73	1.5	—	9	8	10	37.3
十 月	16.9	27.0	8.7	73	1.6	2	9	8	10	144.6
十 一 月	9.4	21.2	0.2	75	1.4	1	2	7	10	61.6
十 二 月	6.7	16.5	1.6	76	1.3	7	3	8	6	19.9
計 及 平 均	15.3	36.6	2.6	74	1.4	14	48	126	128	1,290.6
昭 和 四 年	14.8	25.6	7.4	73.7	1.5	6	47	133	140	991.7
昭 和 三 年	15.1	20.3	10.8	74.5	1.5	9	62	142	135	1,341.1

土 地

位 置——廣島市ハ東經百三十二度二十七分十六秒北緯三十四度二十三分ニ介在シ安藝國西南ニ位シ東及北半面ハ安藝郡ニ西ハ佐伯郡ニ北半面ハ安佐郡ニ接シ南一帯ハ廣島灣ニ瀕ス

地 勢——東北西ノ三方ハ山脈ニ圍繞セラレ南一面ハ海ニ瀕ス市内ハ北ヨリ南ニ向テ僅ニ傾斜シ河川亦南流ス而シテ太田川ハ市ノ北部白島北町一本木鼻ニ來リ兩分シ一流ハ神田川トナリ一ハ臺屋町ノ北角ニ到リテ更ニ二分セラレ他ノ一流ハ中島本町ノ北角ニテ元安、本川ノ二川トナリ他ノ一派ハ西南ニ流レテ天満、福島山手ノ三川トナリ諸川皆廣島灣ニ注グ
街衢ハ概ネ平坦ナルモ東方ニ比治山城山アリ西南ニ江波山、丸子山、皿山ノ小陵アリ周圍ニハ尾長山、二葉山、新庄山、茶臼山、鈴ヶ峯、鬼ヶ城山等連リ海上宇品灣頭ニ宇品島東ニ金輪島南ニ似島辨天島アリ其平地ハ太田川ニ依テ數多ノ三角洲ヲ成シ地質ハ一般ニ花崗石ニ屬ス

面 積

面 積	廣 表	延 長		河 川	延 長	橋 梁 數
		延 長	面積			
道 路	極東 仁保町山ノ神	10.999	69,880.424	米	59.118	25
	極西 草津町西原ヶ尻	12.091				
	極南 仁保町池ノ浦	8.903				
	極北 牛田町天水	8.679				
道 路	國 道	11.867	69.977	米	橋 梁 數	25
	縣 道	24.258	166.044	米		
	市 道	658.803	2,176.019	米		

有 租 地	區 別				段	別	地	價
	市 田 畑 池	街 沼	宅 地			平方米 9,000.886	円 6,184.958	
						6,165.618	264.644	
						10,152.545	282.151	
						28.006	17	
山 原 雜		林 野 地			6,717.415	4,080		
					134.975	188		
					64.561	66		

免 租 及 無 租 地	區 別				反	別	區 別	反	別
	學 校 數 地 鄉 村 社 地 墳 墓 地 用 惡 水 路 溜 井 溝 道 鐵 道 敷 地 縣 廳 敷 地 保 安 林 地 市 役 所 敷 地 出 張 所 敷 地				平方米 756.297	警察署敷地	平方米 6,248		
					4.959	縣會議事堂敷地	6,843		
					149.553	病院敷地	28,562		
					22.909	測候所敷地	13,289		
					22.611	新開地	—		
					3.669	荒地	—		
					54.644	工業試驗場敷地	2,479		
					64.660	水產試驗場敷地	694		
					13.289	下水道敷地	—		
					112.562	軌道用地	84,794		
					5.652	水道用地	86,181		
					793	其他	66,752		

官 有 地	國 縣 市 河 堤	道 道 道 川 防	平方米 69.967	溝渠	平方米 173.008
			141.034	社寺地	3,787.475
			2,164.779	官用地	1,340.145
			3,004.764	其他	1,186.377
			350.896		

戸 數 人 口

戸 口——本市ニ於ケル昭和五年十二月三十一日現在戸數六七、五七五ニシテ人口ハ男一三九、六六八女一三七、四二七計二七七、〇九五ナリ
之ヲ前年ニ比スレバ戸數七一五戸人口三、七五七人増加セリ其ノ増加率ハ戸數一、〇六%人口一、三五%ヲ示セリ
本籍者ノ結婚數ハ最近十ヶ年平均一二、四六%離婚數ハ一二、五六%ヲ示シ出産ハ一一、九六%死亡數一一、〇六%ヲ示セリ

年 次	現在戸數	男	女	計	一戸ニ付 平均人口
昭和五年	67,575	139,668	137,427	277,095	4.1
昭和四年	66,860	137,390	135,948	273,338	4.1
昭和三年	63,438	132,671	130,887	263,558	4.1
昭和二年	52,743	107,075	104,603	211,678	4.0
昭和元年	51,627	103,894	101,891	205,785	4.0
大正十四年	45,601	93,829	93,099	186,928	4.0

昭 和 五 年		男	女	計
本 籍 者		111,191	109,880	221,071
出 寄 留 者		28,999	23,130	52,129
入 寄 留 者		57,476	50,677	108,153
出 生		3,839	3,736	7,575
死 亡		2,252	2,031	4,283
婚 姻		—	—	2,734
離 婚		—	—	392

國 勢 調 査 戸 口 表

調 査 ノ 年	世 帯 數	人 口		
		男	女	計
大 正 九 年	34,553	83,337	77,167	160,504
大 正 十 四 年	42,866	101,966	93,765	195,731
昭 和 五 年	58,992	139,165	131,200	270,365
大正九年ト昭和五年トノ差引増減	増 24,439	増 55,828	増 54,033	増 109,861

備考 本表ニ依レバ平均一ヶ年ノ増加率ハ世帯數二千四百四十四人口一万九百八十六ノ増加ヲ示セリ(軍隊刑務所ヲ含ム)

國 勢 調 査 職 業 別 表 (昭和五年調査)

職 業 別	男	女	計	百 分 比 例
農 業	7,864	472	16,336	7.2
水 産 業	2,001	1,259	3,660	1.7
鑛 業	284	232	516	0.2
工 業	39,188	32,668	71,856	31.1
商 業	36,786	38,675	75,461	33.1
交 通 業	11,662	9,083	20,745	9.1
公 務 及 自 由 業	14,720	15,123	29,843	13.1
其ノ他ノ有業者	5,199	4,458	9,657	4.3
家 事 使 用 人	167	325	492	0.2
無 職 者	15,476	20,437	35,913	13.5
計	133,347	131,132	264,479	100.0

備考 軍隊刑務所ヲ除ク

國勢調査

年 齡 別 表

(昭和五年調査)

年 齡 別	十 歳 マ デ	二十歳マデ	三十歳マデ	四十歳マデ	五十歳マデ	六十歳マデ
男	29,183	31,568	24,353	17,718	13,253	9,792
女	29,132	29,279	24,091	16,100	12,608	10,011
計	58,315	60,847	48,444	33,818	25,861	19,803

年 齡 別	七十歳マデ	八十歳マデ	九十歳マデ	百 歳 マ デ	百 歳 以 上	計
男	5,259	1,891	318	11	1	133,347
女	6,041	2,987	844	35	4	131,132
計	11,300	4,878	1,162	46	5	264,479

備考 本表中最年長者ハ百一歳ナリ

社 寺 及 宗 教

社寺及宗教——本市ニ於ケル神社ハ六十二社ニシテ寺院百四十八箇寺、神道教會所五十九ヶ所、基督教會十二ヶ所アリ

區	別	縣	社	鄉	社	村	社	招魂社	無格者	計	
神	社		1		2		18		1	40	62
神	職		3		4	×	18 6	×	1	2	27
區	別	眞言	淨土	臨濟	曹洞	眞宗	日蓮	計			
寺	院	16	21	6	14	78	13	148			
住	職	16	1	5 ×	13 ×	73 3	13	139 5			
說教所		15	1	—	1	30	7	54			
神道教會所	金光	墨住	神理	天理	大本	扶桑	神習	御嶽	其他神道	計	
	12	2	7	24	1	2	2	1	8	59	
基督教會	會堂	講義所	布教者	信者數							
	10		2	19	1,703						
佛教濟世軍	所	在地	眞宗	布教者							
	研屋町		1	1							

學 事

教 育——昭和五年度末ニ於ケル學齡兒童四二、一六四名ノ内就學ノ始期ニ達シタルモノ三六、〇六六名就學ノ始期ニ達セザルモノ六、〇九八名之ヲ前年ニ比スレバ就學ノ始期ニ達シタルモノ一、〇〇五名就學ノ始期ニ達セザルモノ四五五名増加セリ

昭和五年末ニ於ケル小學校ハ官公立三四校私立三校計三七校ニシテ其ノ教員八〇七名兒童數三五、二四三名ナリ之ヲ前年ニ比スルニ教員二二名兒童一、〇五六名増加セリ 卒業者ハ昭和五年 六、三八三名ニシテ前年ニ比シ二、〇四四名増加セリ

大學——文理科大學一校ニシテ昭和五年度末現在教授數五四名學生二〇一名入學志願者二二四名中入學者八九名ナリ

高等師範學校ハ一校ニシテ昭和五年度末現在ノ教授九三名生徒六九二名ニシテ本年入學志願者二、七一六名中入學者一七九名ナリ卒業者一八八名ニシテ前年ニ比スレバ五名減少セリ

高等工業學校ハ一校ニシテ昭和五年度末現在教授五一名生徒四七九名ニシテ入學志願者一、四四五名中入學者一四七名卒業者一六名ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ卒業者九名増加セリ

高等學校ハ一校現在教員數四四名生徒六〇八名ニシテ入學志願者一、五〇四名中入學者一九一名ナリ

女子專門學校一校ニシテ昭和五年度末教員數三三名生徒三二〇名ニシテ本年度入學志願者三五八名入學者一四一名卒業者一六名ナリ

縣立師範學校ハ一校教員二一名生徒三四六名ニシテ卒業者一九〇名ナリ之ヲ前年ニ比スレバ六名ノ減少ヲ示セリ

中學校ハ官立一縣立二私立六計九校教員二三九名生徒五、五二二名卒業者ハ本年一、一一二名ニシテ前年ニ比スレバ三五名ノ増加ヲ示セリ而シテ本年入學志願者二、八六三名中入學者一、二九八名ナリ

(10)

縣立工業學校ハ一校ニシテ入學志願者七二七名中入學者二三二名現在生徒九二五名教員五五名ナリ卒業者一九六名ニシテ前年ニ比スレバ二五名増加セリ

商業學校ハ縣立一市立一私立三計五校ニシテ入學志願者一、六二四名中入學者六二五名現在生徒二、六三九名教員一一五名ナリ卒業者四九四名ニシテ前年ニ比スレバ一七名ノ増加ヲ示セリ

高等女學校ハ縣立一市立一私立六計八校ニシテ教員二三五名生徒四、八八〇名卒業者一、三五二名入學志願者二、七四三名中入學者一、三六三名ナリ

商業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者四七二名中入學者四七二名現在生徒二〇八名教員二九名ニシテ卒業者ハ二五七名ナリ

工業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者二八〇名中入學者二八〇名現在生徒三九七名教員五一五名ニシテ卒業者七三名ナリ

實業補習學校六校ニシテ昭和五年度末教員數三二名生徒二八二名本年度入學者ハ一七五名ニシテ卒業者九八名ナリ

盲啞學校ハ縣立一校教員一七名生徒二三名ニシテ本年入學者五四名卒業者三九名ナリ

青年訓練所ハ三三箇所其ノ指導員二二五名生徒二、六二四名ナリ

圖書館、高等師範學校所屬ノモノハ圖書數一二五、五六九冊一ケ年ノ閱覽人員四六、二八二人ニシテ平均一日一二七人ナリ南隣ニ高等師範學校附屬教育博物館一アリ

淺野圖書館ハ昭和六年十月一日淺野公爵家ヨリ寄附セラレ廣島市淺野圖書館ト改稱セリ圖書數四七、六八九冊閱覽人員二一、一九三名ナリ

其他市立圖書館七ヶ所ニシテ圖書冊數二、三七八冊一ケ年閱覽人員一、三八〇人ナリ

學 齡	種 別			男	女	計
	就學ノ始期ニ達シタルモノ	就學	不就學			
兒 童	就學ノ始期ニ達セザルモノ			18.187	17.791	35.978
	計			49	39	88
兒 童	就學ノ始期ニ達セザルモノ			18.236	17.830	36.066
	計					
兒 童	就學ノ始期ニ達セザルモノ			3.080	3.018	6.098
	計			21.316	20.848	42.164
兒 童	就學ノ始期ニ達セザルモノ			99.73	99.77	99.75
	計					
校 別		數	教職員保母	學生生徒及兒童	入 學 者	卒 業 者
大 學		1	54	201	85	—
高等師範學校		1	93	692	195	188
高等工業學校		1	51	479	147	116
高等學校		1	44	608	191	168
師範學校		1	21	346	110	190
女子專門學校		1	33	320	141	116
中 學 校		9	239	5.522	1.298	1.112
中 等 學 校		4	29	400	422	12
商 業 學 校		5	115	2.639	615	494
工 業 學 校		1	55	925	232	196
女 學 校		8	235	4.880	1.369	1.352
高等小學校		32	807	3.884	2.110	1.854
小 學 校		37		31.359	5.144	4.529
盲啞學校		1	17	231	54	39
幼稚園		14	38	903	843	545
其他各種學校		35	377	2.414	1.324	1.700
實業補習學校		6	32	282	175	98
計		158	2.240	56.085	14.445	12.709

[illegible]

名	稱	所 在 地	圖 書 數	閱 覽 人 員
廣島高等師範學校圖書館	千 田 町	125,569	46,282	
廣島市淺野圖書館	小 矢 賀 町	47,689	21,193	
矢崎圖書館	仁 保 町	347	135	
青崎圖書館	保 保 町	103	—	
仁保圖書館	仁 保 町	268	100	
楠那圖書館	仁 保 町	316	672	
似三島篠田圖書館	仁 三 保 篠 田 町	314	73	
古田圖書館	古 田 町	817	71	
		213	400	
計	一	175,636	68,855	

上 水 道

上水道——上水道ハ明治二十九年軍用水道ト相俟チテ起工シ同三十一年竣工

セリ、其ノ工費ハ軍用六三九、八四五圓ニシテ市有二九四、〇六五圓ヲ要

セリ、而シテ軍用水道ハ同三十一年九月一日ヨリ向フ三十ケ年間本市使用

ノ許可ヲ得タルモノニシテ同三十二年一月ヨリ陸軍諸官衙及市内一般ニ給

水ヲ開始セリ當時ノ施設ハ人口一〇、〇〇〇ニ對スルモノニシテ一日ノ

最大給水量ハ一二、六六三立方米(一人一日最大給水量一一〇立)ナリシガ

戸口逐年増加シ僅々十ケ年ニシテ給水限度ノ人口ヲ超ユルニ至リシカバ同

四十年三月第一期擴張工事ヲ起シ同四十一年三月竣工セリ、此ノ工費一四

五、五九四圓ヲ要シ人口一六〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量一六、八八五

立方米ヲ供給シ、尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルニ於テハ優ニ給水量二一、

一〇六立方米ノ需要ヲ充タスコトヲ得ルニ至レリ、然ルニ本市ノ發展著シ

ク人口益々増加シ既設ノ設備ニテハ或ハ給水ノ不足アルヲ慮リ大正十年五

月第二期擴張工事ヲ起シ同十三年六月竣工セリ此ノ工費ハ實ニ二、一三〇、

○一七圓ニシテ人口二五〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量（從來ハ一人一日

最大給水量一一〇立ヲ一四二立トス) 三六、四三九立方米ヲ供給尙豫備機

械ヲ擧ゲテ使用スルトキハ優ニ五五、五六〇立方米ノ需要ヲ充シ得ルニ至

レリ、水源地ハ面積九八、一四九平方米沈澱池三個此ノ容積一三、三四九

立方米濾過池七個此ノ濾過面積一二、三五六平方米、砂溜池、一個量水池

一個、機關室一棟、取水唧筒室一棟、送水唧筒室一棟、量水室二棟アリ、

山上ニ配水池五個ヲ設置シ此ノ容積九、〇二〇立方米ナリ、又太田川沿岸

(廣島市牛田町) = 取次場一ヶ所取水塔一基ヲ設ケ之レヨリ取水唧筒井迄自

然流入シ唧筒ヲ以テ各池ニ引キ附近海拔五二米ノ山上ニアル配水池ニ壓送

シ所謂唧筒配水法ニ依リテ市内ニ配水セリ、其ノ本管ハ六一輝、五一輝二

○糶ノ三條ニシテ陸軍各兵營並ニ市内各町ニ及ブ各町道路面上約九十米毎

ニ一個ノ割合ヲ以テ公設防火栓ヲ設置セリ

上

水

道

區 別	給 水 戸 數	給 水 量	給 水 料
放任給水	31.158	8.806.655 ^{立方}	214.164.600 ^円
計	13.564		66.025.910
家事用	8.402	2.706.129	184.770.340
營業用			
官衙學校會社用			
噴水庭園用			
湯屋用	122	786.880	34.896.840
陸軍用	28	327.582	5.447.890
船舶用	4	25.157	2.707.520
計	53.278	12.652.403	508.013.100

給水戸口	全戸口	給水戸口	水道外ノ水ヲ使用スル戸口	現住戸口百ニ對スル給水戸口
戸數	人口	戸數	人口	戸數
67.575	277.095	53.278	218.439	14.297
				58.656
				79
				79

配水管及栓	配水管	防火栓
軍用線長	市有線長	計
30.309 ^米	198.536 ^米	228.845 ^米
		1.175
		1.005
		306
		2.485

水栓數	放任給水栓	計量給水栓	合計
專用	公設共用	私設共用	計
34.566	362	2.522	37.450
			16.781
			801
			4
			2.004
			19.590
			57.040

累給 年 水 比 較 量	年 度	給 水 量	一 日 平 均 給 水 量	給水人口	一日一人平均 給 水 量
	昭 和 五 年	12.422.612 ^{立方} 米	34.035 ^{立方} 米	218.439	156 ^立
	同 四 年	66.541.890 ^石 (12.003.558.079 ^立)	182.306 ^石 (32.886.460 ^立)	212.109	859 ^合 (155 ^立)
	同 三 年	60.040.210 ^石 (10.830.713.522 ^立)	164.494 ^石 (29.673.187 ^立)	205.889	799 ^合 (144 ^立)

衛

生

昭和五年

衛生——塵芥搬出量ハ昭和五年中四四、五三一、二三〇軒ニシテ之ニ要スル掃除人夫延三三、二一五人ヲ要セリ之ヲ前年ニ比スレバ塵芥搬出量三、四五三、二三九軒掃除人夫延四、八七九人ノ増加ヲ示セリ

公設便所ハ昭和五年末五六個所ニシテ平均二個町ニ一個所強ノ割合トナル

醫師ハ昭和五年末ニ於ケル現在數三四九名ニシテ昨年ニ比シ六七名ノ減少ヲ見ル而シテ醫師一人ニ對スル現在人口ハ八九四人ナリ齒科醫師ハ一五九名ニシテ昨年ニ比シ一四名ノ増加ヲ見ル

産婆ハ昭和五年末二〇〇名之ヲ昨年ニ比スレバ八名増加セリ

傳染病患者ハ昭和五年中四七五人ニシテ其ノ最モ多キハ九月六七人八月ノ五六人七月ノ五四人十二月ノ五二人ナリ之ヲ前年ニ比スレバ總計ニ於テ一八七人ノ減少ヲ示セリ而シテ傳染病死亡者ハ一三六人ニシテ其ノ死亡者ノ最モ多キハ腸チブス七九人痲痢四三人等トス又其ノ死亡者ノ年齢ヲ見ルニ三十歳乃至四十歳ノモノ最モ多シ

醫師其ノ他	醫 師	藥 劑 師	婆 産	看 護 婦	鍼 灸	按摩其他
	349	193	200	1.250	135	370
	齒科 159					

縣立廣島病院	水主町	私立廣島腦病院	白島西中町
縣立廣島診療院	船入町	私立清病院	細工町
市立船入病院	船入町	私立關西病院	國泰寺町
私立堀田眼科病院	大手町八丁目	株式會社眞宗病院	上流川町
私立難波病院	立町	私立中央病院	大手町八丁目
私立田邊外科病院	尾道町	私立江藤病院	小町
私立進藤病院	細工町	私立原田病院	國泰寺町
私立吉永内科病院	西魚屋町		

傳 染 病	病 名 別	昭 和 五 年		昭 和 四 年		昭 和 三 年	
		患 者	死 亡	患 者	死 亡	患 者	死 亡
傳 染 病	コ レ ラ	—	—	14	6	1	1
	赤 痢	42	10	50	14	37	15
	疫 痢	56	43	104	51	60	42
	腸チフス	348	79	461	128	280	82
	痘 瘡	—	—	—	—	1	—
	發疹チフス	—	—	—	—	—	—
	猖 紅 熱	5	—	6	—	7	—
病	バラチフス	19	4	14	4	9	—
	デフテリア	5	—	11	5	10	4
	流行性脳脊髓膜炎	—	—	2	2	2	2
計		475	136	662	210	407	146

死 累 比 亡 較	年 次	男	女	計	現 住 人 口 千 人 = 付
	昭 和 五 年	2,252	2,031	4,283	15.5
	昭 和 四 年	2,052	1,968	4,020	14.7
	昭 和 三 年	2,251	2,018	4,269	16.1

衛 生 組 合	組 合 數	役 員 數	總會開會度數	講話開會度數	經 費 總 額
	277	2,720	?	—	?

塵 芥 搬 出 量	數 量	價 額
	44,531,230	円 58.40

公 認 便 所	兩 便 所 併 置	小 便 所	收 入
	56	2	円 102

下水道——本市ノ地盤タルヤ太田川ノ下域ニ堆積シタル泥砂ニヨリテ形成セラレタル數箇ノ三稜洲ヨリ成リ其ノ地勢極メテ平坦ニシテ海面ヲ抜クコト少ク南部新開地ノ如キハ平均干潮面ヲ抜クコト僅カニ三尺内外ニ過ギザル部分アリ一般ニ北方ニ赴クニ從ヒ土地次第ニ高く河水ノ最高水位以上ニ達スル部分アリト雖其ノ他ハ概ネ卑濕ニシテ僅カニ圍繞セル堤防ヲ以テ河水ノ浸入ヲ防グニ過ギズ此故ニ市内ヲ縱横ニ貫流セル下水溝ハ泥土堆積シテ汚水ヲ通ズル其ノ深キモノモ僅ニ四、五寸ニ過ギズ是ヲ以テ毎歲降雨期ニ際シ河水激増スルトキハ雨水汎濫床下ヲ浸シ屎尿ト混濁溢流シテ井水ヲ汚濁シ忽チ泥澤ノ觀ヲ呈スルモ幾回ノ干潮ヲ經テ初メテ減水スルヲ俟ツノミナルヲ以テ時ニ惡疫ノ流行ヲ免レザリキ故ニ之レガ救済方法トシテ一日モ速ニ上下水道ヲ完備セシムルノ必要ヲ認ムルコト久シカリシガ偶々明治二十七八年日清戰役ノ起ルアリ本市ニ軍用水道ヲ布設セラレタリシガ市モ亦之ト併行シテ上水道ノ布設ヲ企畫シ明治三十一年八月其ノ工ヲ竣ヘタルヲ以テ次デ下水道ヲモ改良シテ公衆衛生機關ヲ完備セシメンコトヲ企畫シ明治三十一年五月之ガ工事設計ヲ工學士市瀬恭次郎ニ囑託シ同三十三年三月設計ヲ了リタルモ巨額ノ工費ヲ要シ市ハ曩ニ上水道敷設ノ爲メ巨費ヲ投ジタルガ故ニ續テ之ヲ支出スルノ餘力ヲ存セズ一時中止スルノ止ムナキニ至リタリキ然レドモ上水道完成スルモ下水道ノ設備ニシテ整ハザレバ衛生上ノ目的ヲ完ウスルヲ得ザルヲ以テ明治三十九年遂ニ之ヲ五ケ年繼續事業トナシ總工費ノ三分ノ一ハ之ヲ國庫ノ補助ニ依リ以テ宿望ヲ達セントシ設計及諸般ノ準備ヲ整ヘテ政府ニ申請シ明治四十年三月總工費九十七萬五千八百四十三圓ニ對スル三分ノ一即三十二萬五千圓ヲ補助セラルルコトナリ是ニ於テ初メテ下水道敷設ノ機運ニ到達セリ然ルニ年々市區ノ發展ニ伴ヒ敷設區域ノ擴大セルト諸物價ノ騰貴セルトハ工費ノ増額ヲ餘儀ナクシ且ツ國庫補助金ハ之ヲ七ケ年ニ分割交附セラルヲ以テ市モ亦七ケ年繼續事業ニ改メ之ガ爲事務費ノ増加ヲ來シ終ニ總工費百十九萬五千六百六十八圓ヲ計上シ明治四十年九月十六日主務大臣ニ築造ノ認可ヲ申請シ同年十月二十六

日認可ヲ得翌明治四十一年三月二十五日工事ニ着手セリ而シテ中途財政上
或ハ工事上ノ都合ニ依リ再三工事ヲ延期シ大正五年五月三十日ニ至リ全部
竣工ヲ告ゲタリ斯クノ如ク豫定ノ工事期間七ケ年ヲ後ルコト三ケ年且起工
以來諸物價ノ昂騰ハ支出ノ増加ヲ來シ爲メニ所要工費ノ決算額ハ百四十六
萬三千二百五十六圓ニ達シ起工當時ノ豫定額ニ比シ二十六萬七千五百八十
八圓(國庫補助申請當時ノ額ヨリハ四十八萬七千四百十三圓)ヲ増加セリ尤
モ市區發展ニ伴フ擴張區域内敷設費二十六萬八千四十圓ニ對シテハ大正四
年二月二十五日國庫補助ヲ追願シ同年三月五日其ノ三分ノ一即八萬九千圓
ノ補助ヲ聽許セラレタリ今其ノ工區別及着手、竣工年月日並ニ下水管渠其
ノ他構造物等ヲ示セバ次表ノ如シ

排水區域 工區名	地城	起工年月日	竣工年月日	築造費
第一區	猿猴川以東	大正二年 六月十八日	大正三年 九月二日	174,251.341
第二區	猿猴川間	同 三年 三月十三日	同 四年 二月二十五日	199,737.132
第三區	白鳥一圓	明治四十四年 二月十日	明治四十四年 八月七日	73,181.303
第四區	京橋川間	明治四十五年 五月十四日	大正五年 五月三十日	335,118.922
第五區	平田屋川間	同 四十二年 四月二十日	明治四十五年 三月二十七日	255,021.904
舊城濠	埋立地内	同 四十四年 四月十日	同 四十四年 十月二十日	6,414.661
第六區	元安川間	同 四十一年 三月二十五日	同 四十二年 一月三十一日	77,623.746
第七區	本天滿川間	同 四十三年 四月十日	大正二年 三月三十日	214,557.487
第八區	天福滿川間	大正四年 正月十日	同 四年 八月三十日	79,095.713
第九區	福山島川間	同 一年 一月十日	同 一年 八月二十五日	24,552.249
第十區	江波	同 三年 六月十四日	同 三年 十月二十三日	14,640.448
第十一區	宇品	同 四年 一月十日	同 四年 八月一日	9,064.882
計		—	—	1,463,256.788

備考 本表築造費ハ工事費、事務費、補償費等ノ總額トス

下水管渠及構造物

(昭和五年中)

區別	單位	延長又ハ個數	摘要
土管	間	1.633 ^米	幹線
船形渠	同	44	同 コンクリート渠
開渠	同	—	同 石積矩形
街(雨落溝)渠	同	2.504	同
雨水引水管	同	298	内徑五寸土管
各戸下水公設枝管	同	1.209	同 四寸同
計		5.688	

區別	單位	延長又ハ個數	摘要
人孔	箇所	43	
燈	孔	7	
雨水樹	同	66	
土溜樹	同	5	
吐口	同	1	
排水面積	面坪	62.513 ^{平方米}	

昭和五年末ニ於ケル現在左ノ如シ

幹延	支線長	人孔數	燈孔數	各戸接續管長	排水面積
263.423 ^米		2,984	466	60.522 ^米	6,811.160 ^{平方米}

警察裁判警備刑務

警察、裁判、警備、刑務

警 察 署	署 數		所 轄 町 數		派 出 所		駐 在 所			
	4		123		37		12			
	警 視	警 部	警 部 補	巡 査 部 長	巡 査	計				
	2	4	13	31	273	323				
裁 判 所			判 事	檢 事	司 法 官 試 補	書 記 長 及 監 督 書 記	書 記	執 達 吏	計	
	廣 島 控 訴 院		10	—	—	1	9	—	20	
	同 檢 事 局		—	5	—	1	6	—	12	
	廣 島 地 方 裁 判 所		14	—	—	1	15	—	30	
	同 檢 事 局		—	3	—	1	4	—	8	
	廣 島 區 裁 判 所		4	—	—	1	10	6	21	
	同 檢 事 局		—	6	3	1	7	—	17	
辯 護 士 公 證 人 及 執 達 吏		辯 護 士		公 證 人		執 達 吏				
		79		3		6				
盜 難	區 別		貨 幣		穀 類		衣 類		其 他	計
	被 害 貨 財		223,034 ^円		131 ^円		37,428 ^円		88,060 ^円	348,653 ^円
	發 見 貨 財		231,249		38		30,959		56,471	318,717
變 死 者			自 殺	過 失	殺 害	災 害	其 他	計		
	男		46	29	131	—	17	223		
	女		29	14	15	—	5	63		
	計		75	43	146	—	22	286		

火 災	度 數		棟 數		燒 失 坪		損 害 高		
	117		133		7,580 ^{平方米}		223,168 ^円		
消 防	組 頭	小 部 頭 長	小 部 頭	信 號 擔 當 者	消 防 手	常 備 消 防 手	機 關 士	運 轉 手	計
	10	22	52	21	966	40	—	19	1,130
刑 務 所	刑 務 所 長	典 獄 補	看 守 長	保 健 師	教 諭 師	看 守	女 監 締	其 他	計
	1	—	7	2	3	125	2	29	179
區 別		男			女		計		
受 刑 者		1,089			—		1,089		
刑 事 被 告 人		124			5		129		
勞 役 場 入 場 者		7			—		7		
携 帶 乳 兒		—			—		—		
計		1,220			5		1,225		

救 恤

救 恤

區 別	國 費	市 費		濟 生 會	計
		食 費	施 療		
人 員 額	—	384 ^人 7,880 ^円	239 ^人 3,459 ^円	65 ^人 565 ^円	688 ^人 11,904 ^円
區 別		男	女	計	
行 旅 病 人		54 ^人	7 ^人	61 ^人	
行 旅 死 亡 人		11	6	17	
計		65	13	78	
精 神 病 者		39	18	57	

商 工 業

商工業——商工會議所議員四五名顧問七名選舉權ヲ有スルモノ四、六六〇名

經費五四、〇二三圓ナリ

産業組合二九組、同業組合一六組、準則組合七組、漁業組合一二組、任意組合其他一二四組畜産組合一組、工業組合一組、酒造組合一組、計一九一組合ナリ

會社ハ本店五八二支店一〇ニシテ之ガ業別次ノ如シ

工業二三八、商業四一〇其他四四ナリ今其ノ組織別ヲ見ルニ株式會社二六八、合資會社三一、合名會社一〇六、相互會社七ナリ銀行ハ本店三、支店及出張所三ニシテ本店ノ資本金總額二三、二〇〇、〇〇〇圓ナリ而シテ本支店預金總額四一四、一九三、六五三圓ニシテ前年ニ比スレバ四四三、一八四、六〇八圓ノ減少ヲ示セリ

工場(職工五人以上ノモノ)四八九箇所ニシテ職工總數九、六九三(男六、一六二女三、五三一)ナリ今之ヲ業態ニ依テ分類スレバ飲食物品及嗜好品製造業一〇八、金屬工業八八、纖維工業二七、木竹類ニ關スル製造業九二、機械器具製造業二二、化學工業四四其他一九六ナリ瓦斯使用戸數燈火用一〇、五四二燃料用一四、六二七機械用三戸ニシテ一ケ年間ニ於ケル瓦斯使用量五、四七八、四四八立方米此ノ價額四九七、四〇八圓ナリ之ヲ前年ニ比スレバ使用戸數一六二戸増加セリ

電燈需要戸數六〇、〇九〇電力需用戸數一、七六三戸トス之ヲ前年ニ比スレバ電燈需用戸數三二〇戸電力需用戸數三九戸減少セリ

供給電量ハ五五、一三二、三〇〇KWHニシテ電力及電燈ノ料金ハ二、八一、一二、〇〇〇圓ナリ

商 業 家	本 業		副 業		計	
	戸 數	人 口	戸 數	人 口	戸 數	人 口
	13.966	31.617	3.119	6.417	17.085	38.034
工 業 家	本 業		副 業		計	
	戸 數	人 口	戸 數	人 口	戸 數	人 口
	14.830	27.500	1.384	2.059	16.214	29.559
工 場 (職工十人以上)	工 場 數	動 力		職 工		
		箇 數	馬 力 數	男	女	
	178	1.831	9.110	6,016	3.485	
市 場	市 場 名		場 數	賣 買 高		
	公 設 市 場		6	580.190		
	町 設 市 場		4	125.000		
	私 設 市 場		15	11,673.124		
區 別		組 員 數		組 合 員		
產 業 組 合	業 業 組 合	29		?		
	業 業 組 合	16		?		
	準 則 組 合	7		?		
	任 意 組 合	124		?		
	漁 業 組 合	12		?		
	畜 產 組 合	1		19		
	酒 造 組 合	1		396		
工 業 組 合	1		22			
劇 場 及 寄 席 興 行 場	區 別		場 數	一 観 客 年 數	一 收 入 年 高	
	劇 場	4	508.634	154.317		
	寄 席	85	191.000	95.500		
	興 行 場	486	2,714.735	895.863		
	計	575	3,414.369	1,145.680		
勸 商 場	總 數		店 鋪 數			
	7		207			

電 氣	線 路 長	線 條 長	電 燈 需 用 戶 數	電 力 需 要	
	戶 數	馬 力	戶 數	總 馬 力 數	馬 力
	219	1,317	60,090	1,763	8,809
瓦 斯	瓦 斯 管 延 長	供 給 戶 數	供 給 高		
	粉	戶	平方米		
	624.163	25.172	5,478.448		

區 別	輸 移 出	輸 移 入
縣 外 輸 移 出 入	79,329.706	105,427.001
宇 品 港 輸 出 入	373.805	4,018.560
宇 品 港 移 出 入	26,181,964	40,328,234

縣 外 輸 移 出 入 品 中 主 要 ナ ル モ ノ	玄 米	177,360	4,042,440
	白 米	169,763	1,734,600
	大 豆	72,278	1,054,755
	罐 詰	3,185,600	275,000
	果 物	817,700	1,129,350
	葉 煙 草	69,838	1,565,069
	刻 煙 草	2,945,853	512,377
	卷 煙 草	6,327,393	2,219,388
	鮮 魚	2,488,000	2,568,000
	絹 織 物(着尺物)	3,393,600	7,414,000
	綿 織 物(着尺物)	5,472,500	731,000
	絹綿交織物(着尺物)	1,848,000	4,691,200
	麻 織 物(蚊帳地)	1,100,000	369,600
	麻 織 物(着尺物)	894,350	1,203,300
	毛 織 物(着尺物)	1,672,800	2,484,000
	綿 ネ ル	900,000	1,950,750
	染 手 拭	1,365,100	—
	足 袋	1,175,300	1,709,400
	晒 木 綿	1,309,550	120,100
	洋 産 綠 綿	516,500	6,936,500
	紡 績 綿 糸	4,426,400	2,085,600
	洋 服 地	3,485,000	5,161,200
	洋 紙	951,500	1,800,400

區 別	輸 移 出	輸 移 入
縣 外 輸 移 出 入 品 中 主 ナ ル モ ノ	2,573,000	—
筆 鑄 物	2,184,013	131,620
針 藥 圖	1,247,980	—
自 轉 車	23,800	1,477,000
自 動 車	983,900	2,859,900
丸 太 材	234,000	1,319,500
角 板 材	405,500	1,529,500
石 炭	211,750	7,016,000
セ メ ン ト	417,300	3,561,600
コ ー ク ス	549,450	1,036,500
ゴ ム 製 品	—	1,684,800
機 械 油	—	2,216,640
人 造 絹 糸	302,340	1,502,780
	2,477,000	404,790
	1,861,350	75,330
	5,156,130	—

區 別	輸 移 出	輸 移 入
宇 品 港 輸 移 出 入 中 主 要 ナ ル モ ノ	—	476,485
豆 粕	—	1,037,837
石 炭	—	370,442
牛 肉	—	115,044
高 梁	—	141,119
花 胡 麻 子	—	164,379
ニ ッ ケ ル	—	453,042
苛 性 曹 達	—	5,058,456
米	795,912	548,304
大 豆	207,666	792,576
昆 布	40,368	2,140,001
鮮 魚	177,796	903,280
乾 魚	19,725	—

區 別		輸 移 出	輸 移 入
宇 品 港 輸 移 出 入 品 中 主 要 ナ ル モ ノ	砂 糖	137.970 ^円	2.243.430 ^円
	罐 詰	1.094.350	269.450
	葉 煙 草	—	1.364.350
	製 造 煙 草	2.646.491	567.290
	油 類	692.120	356.200
	硫 酸	—	665.700
	苛 性 曹 達	—	577.800
	其 他 ノ 藥 品	143.760	1.365.400
	製 綿	639.206	325.800
	綿 糸	725.420	590.640
	綿 織 物	1.188.840	1.432.204
	パ ル プ	—	749.100
	石 炭	40.644	700.893
	其 他 ノ 礦 物 製 品	212.230	2.071.895
	機 械 類	266.335	785.740
	鋳 力 板	—	1.386.000
	電 波 板 鐵	—	512.960
	自 動 車	—	1.195.200
肥 料	306.028	780.814	
防 腐 電 柱	747.504	—	
木 材	1.830.091	1.746.072	
板	1.132.848	1.076.280	
木 製 品	823.345	113.925	
化粧品及小間物	149.240	1.259.250	
書籍及雜誌	167.750	547.250	
石 鹼	80.910	562.900	
其 他 ノ 雜 品	3.676.647	2.352.596	

株 式 取 引 所	年 次	賣 買 高		受 渡 高	
		株 數	價 額	株 數	價 額
平 玄 均 米 相 一 場 石	昭 和 五 年	7,322,560 ^株	690,749.465 ^円	315,100 ^株	21,026.700 ^円
	昭 和 四 年	3,785,340	441,039.227	237,420	23,167.280
	昭 和 三 年	2,425,382	371,350.111	103,480	11,688.050
品 目	年 次	上 米		中 米	
		下 米		職 工	
		數 量	價 額	戶 數	職 工
工 產 物	精 米	139,763.588 ^立	5,841.395 ^円	142 ^戸	326 ^人
	紡 績 綿 糸	19,014 ^冊	4,336.000	2	804
	人 造 絹 糸	1,560 ^屯	4,200.000	1	1,085
	印 刷	?	3,118.750	65	617
	製 材	?	2,941.950	74	282
	罐 詰	4,794.490 ^瓶	2,731.141	29	470
	護 謄 製 品	?	2,712.752	23	672
	製 綿	3,061.875 ^延	1,959.600	22	535
	タンバン電柱	420.000 ^本	1,574.000	1	19
	洋 服	97.586 ^着	1,463.790	138	591
	菓 木 類	?	1,379.950	193	452
	製 罐	21,589.604 ^ヶ	1,122.659	23	90
	箆 筍	35.910 ^本	1,038.090	124	286
	蒲 鉦 及 竹 輪	1,278.000 ^延	920.160	76	475
	縫 針	3,029,575.000 ^本	878.576	40	508
	履 物	2,508.250	877.922	50	121
	色 木 綿	1,156.900 ^反	786.692	7	95
	絹 捺 染 物	?	612.735	20	262

品名		數	量	價	額	戶	數	職	工
工	コルク製品	?	延	595.405	円	1			137
	乾鰯鮎	2.899.256	立	518.001		3			16
	酒類	1.312.886	封度	509.535		14			106
	板紙	5.711.661	立方米	503.665		2			116
	石炭瓦斯	5.478.448		497.408		1			31
	鑄物類	?		456.780		7			126
	疊	227.280	足	454.560		95			252
	足袋	1.798.500	反	431.640		17			198
	染手拭	410.300	本	430.815		7			18
	傘	530.060		430.450		47			169
產	清涼飲料水	?		418.970		31			164
	賣藥	?		378.850		45			112
	建具	?		368.426		169			390
	餐附	430.020	延	322.515		5			10
	洋家具	27.580	ヶ	317.170		7			45
	紙製品	?	延	309.767		23			103
	漉海苔	64.980	ヶ	294.746		472			1.067
	佛檀料	5.773		288.650		38			70
	塗料	?		287.036		1			41
	醬油	1.362.552	立	286.900		16			35
物	靴	?		285.200		16			39
	蚊帳地	?		266.753		2			163
	餅	12.627	立	253.600		59			139
	砥石	100.776	枚	251.980		3			71
	看板	159.900	延	239.850		20			43
	製造昆布	508.928	打	237.500		19			109
	金ペン	62.106		227.416		4			46
	パン	?		225.450		27			71
	石材製品	?		208.310		47			76
	綿織物	?		203.495		7			82
其他	?		14.115.109		1.286			4.218	
計	?		63.112.074		3.521			15.953	

備考 一ヶ年産額二十萬以上ノモノヲ掲記セリ

工 場

野 口 護 謨 工 業 所	護 謨 製 造	段 原 町
西 井 製 作 所	銅 眞 鍮 器 具 製 造	同
穴 戸 オ ー ト バ イ 製 作 所	自 動 自 轉 車 製 造	南 竹 屋 町
大 吉 製 綿 所	製 綿 業	同
廣 島 板 金 製 作 所	文 具 金 物 製 造	同
廣 島 製 砥 所	人 造 砥 石 製 造	蟹 屋 町
井 畑 護 謨 工 業 所	護 謨 製 造	鹽 屋 町
山 田 文 具 金 屬 類 製 造 所	鉛 筆 金 具 製 造	蟹 屋 町
西 尾 節 吾 疊 工 場	疊 製 造	堺 町 二 丁 目
國 際 金 ペ ン 製 作 所	金 ペ ン 先 製 造	上 柳 町
青 木 製 針 工 場	製 針 業	天 神 町
番 匠 德 太 郎 商 店	綿 布 メ リ ャ ス 加 工	水 主 町
長 谷 川 莫 大 小 製 造 所	莫 大 小 製 造	同
巢 守 鑑 札 工 場	鑑 札 類 製 造	同
平 尾 工 業 部	鑄 造 業	吉 島 町
山 本 製 針 工 場	縫 針 製 造	鷹 匠 町
新 見 罐 詰 製 造 所	罐 詰 製 造	廣 瀬 町
三 宅 製 針 商 會 廣 瀬 町 工 場	縫 針 及 削 經 製 造	同
飯 村 鐵 工 所	鐵 工 業	左 官 町
西 久 製 綿 所	製 綿 業	廣 瀬 町
丹 波 屋 製 菓 工 場	菓 子 製 造	同
津 崎 商 店 廣 島 製 材 所	製 材 業	船 入 町
山 音 メ リ ャ ス 工 場	メ リ ャ ス 製 造	同
昭 和 護 謨 製 造 所	護 謨 草 履 製 造	猿 樂 町
住 野 工 場	足 袋 用 甲 馳 製 造	福 島 町
大 正 ラ ミ ー 紡 績 工 場	ラ ミ ー 糸 製 造	古 田 町
中 田 製 針 所	縫 針 製 造	三 篠 町
中 田 德 藏 製 針 工 場	製 針 業	同

工場	萬國製針工場	縫針製造	三篠町
	増田護謨工業所	護謨製品製造	同
	中田釣針工場	釣針製造	同
	沼田木工所	椅子製造	同
	加土染工場	捺染染色	同
場	奥田ゴム工業所	ゴム製品	同

備考 本表ハ法人ニアラザル工場ニシテ職工二十五人以上ヲ掲載ス

會 社

會社——市内ニ於ケル會社ハ本店五八二資本金一七一、五二四、三四八圓
ニシテ支店一一〇ナリ

會社	區 別		本 店	支 店	資本金總額	拂 込 額	積 立 金
	株 式	資 名 互 計					
會社	株 式	資 名 互 計	172	96	159,537.840	94,449.562	10,341.269
	株 式	資 名 互 計	309	2	6,736.870	6,736.870	541.743
	株 式	資 名 互 計	101	5	5,249.638	5,294.638	288.881
	株 式	資 名 互 計	—	7	—	—	—
	計		582	110	171,524.348	106,436.070	11,171.893
	廣島電氣株式會社	電燈電力供給					小 町
	廣島瓦斯電軌株式會社	電車瓦斯供給					大手町三丁目
	藝備鐵道株式會社	旅客貨物運輸業					蟹屋町
	田村工業株式會社	縫針製造					三篠町
	廣島證券株式會社	各會社株式及社債取得					小 町
社	太田川水電株式會社	電力供給					同 町
	藝石鐵道株式會社	鐵道營業					鐵 砲 町
	廣島臨港土地株式會社	土地開拓改良整理					宇 品 町
	本場關戸蚊帳株式會社	蚊帳製造					廣 瀬 町
	廣島畜産株式會社	罐詰製造					同
	廣島水産株式會社	魚 市 場					大手町九丁目
	山陽合名會社	製材及木材販賣					船 入 町

會

社

三篠商事株式會社	金 錢 貸 付	吉 島 町
廣島合同運送株式會社	貨物運送業	蟹 屋 町
大崎電氣株式會社	電燈電力供給	南 竹 屋 町
中國製紙株式會社	洋 紙 製 造	吉 島 町
東邦工業株式會社	罐 詰 製 造	皆 實 町
東亞木材防腐株式會社	クレオソート注入	大手町八丁目
明治足袋株式會社	足 袋 製 造	天 滿 町
日ノ出醬油株式會社	醬 油 製 造	宇 品 町
廣瀬土地建物株式會社	土地建物賃貸	下 流 川 町
昭和興信株式會社	有價證券所有及利用	紙 屋 町
協和證券株式會社	有價證券取得處分	大手町三丁目
日本アルミナ電氣工業株式會社	蠟石礦石ノ採掘及販賣	猿 樂 町
合資會社瀬川倉庫	倉 庫 業	西 地 方 町
廣島觀音地先埋立株式會社	觀音地先開拓及開墾	下 中 町
廣島起業土地株式會社	石材及土砂採取	矢 賀 町
株式會社鈴木商店	砂 糖 商	塚 本 町
廣島炭加製造株式會社	炭酸カルシウム製造	船 入 町
株式會社山縣元兵衛商店	貴 金 屬 時 計 製 造	針 屋 町
廣島製紙株式會社	美術工藝品製造	吉 島 町
藤野製綿株式會社	板 紙 製 造	蟹 屋 町
株式會社淺枝罐詰製造所	製 綿 製 造	廣 瀬 町
山陽紡績株式會社	罐 詰 製 造	河 原 町
山陽材木防腐株式會社	綿 糸 紡 績	同 町
廣島製酒株式會社	木材防腐販賣	船 入 町
關西林業株式會社	燒 酎 製 造	同 町
日本麻紡織株式會社	製 材 業	河 原 町
株式會社宇品造船所	麻糸織物製造販賣	己 斐 町
東洋工業株式會社	造 船 造 機	元 宇 品 町
廣島物産株式會社	コ ル ク 製 造 業	吉 島 町
株式會社廣島株式取引所	倉 庫 業	大 須 賀 町
昭和土地株式會社	有價證券取引	銀 山 町
株式會社草津魚市場	不動產取得賣買	紙 屋 町
株式會社福屋	魚 市 場 業	草 津 町
株式會社大西商店	百 貨 店	八 丁 堀
	砂 糖 商	堺 町 二 丁 目

合資會社羽田別莊
株式會社丸安高橋吳服店
株式會社大正屋吳服店
廣島製餡株式會社
關西肥料株式會社
森永製品山陽販賣株式會社
株式會社廣島印刷所
大海電氣株式會社
種ヶ島水力電氣株式會社
合名會社湯澤綿行
廣島海外貿易株式會社
株式會社ラミ一商會
株式會社藝備日日新聞社
旭土地建物株式會社
株式會社立石商店
合資會社中央病院
廣島木材株式會社
合名會社中國新聞社
第一印刷株式會社
中國塗料株式會社
宇品運送株式會社
關西石油合資會社
合名會社山文商店
丸五合名會社
中國ゴム工業株式會社
株式會社野村屋
株式會社チ、ヤス
合名會社多山本店
合資會社住田材木店
中部合同コークス株式會社
岡本商事株式會社
株式會社中尾自動車商會
株式會社紫雲館
廣島乘合自動車株式會社

料理
吳服太物商
同
水餡製造
肥料製造販賣
菓子販賣
活版印刷業
電燈電力供給
同
製綿業
針織詰海外貿易
各種原糸賣買
新聞紙發行
土地建物ノ賣買及仲立
織物販賣
醫業
製材業
新聞紙發行
印刷及紙器
塗料製造
海陸運送業
石油類販賣
海產物問屋
製材及木材販賣
ゴム品製造
牛乳搾取業
牛乳搾取販賣
和洋太物商
材木販賣業
コークス販賣
有價證券賣買
自動車販賣
人畜汚物焼却
市内乘合自動車營業

船入町
紙屋町
中島本町
觀音町
三篠町
十日市町
八丁堀
南竹屋町
同
愛宕町
三篠町
廣瀬町
大手町三丁目
吉島町
元柳町
大手町八丁目
千田町
上流川町
古田町
吉島町
宇品町
三篠町
榎町
水主町
南竹屋町
廣瀬町
同
播磨屋町
船入町
吉島町
同
研屋町
尾長町
千田町

日之田汽船株式會社
島本商事合資會社
廣島罐詰株式會社
株式會社桐原製糖工場
廣島染工株式會社
吉川合資會社
株式會社歌舞伎座
常盤土地建物株式會社
二本松土地株式會社
合資會社今田商店
明治水力電氣株式會社
株式會社木原製材所
株式會社大和屋商會
株式會社河野商會
己斐運送株式會社

航運業運送業
金錢貸付
罐詰製
製捺染業
旅館業
劇場賃貸
土地建物賣買
土地家屋有價證券賣買
木材販賣
電力電燈供給
製材業
清涼飲料水製造
齒刷牙製造
運送業

宇品町
京橋町
觀音町
船入町
同
大手町三丁目
八丁堀
針屋町
皆實町
愛宕町
南竹屋町
元宇品町
大手町八丁目
三篠町
己斐町

備考 本表ハ資本金拾五萬圓以上ヲ掲載ス

(資本金順)

銀行及金融

銀行及金融——銀行ノ本店三支店一四行ニシテ本店ノ一ケ年總預金額九、
三九五、六七二圓ナリ

銀	銀行數		資本總金額		拂込額		積立金	
	3		23,200,000 ^円		8,764,000 ^円		5,948,074 ^円	
行	支店及出張所		市内ニ本店ヲ有スルモノ		市内ニ本店ヲ有セザルモノ			
			11		21			
預金	定期	當座	特別	通知	諸預金	計		
	161,657,789 ^円	144,602,853 ^円	71,582,814 ^円	14,355,763 ^円	21,994,434 ^円	414,193,653 ^円		

銀	貨	證 書 貨	手 形 貨	當 座 貨 越	割 引 手 形	計
	金	43,392,760 ^円	98,156,321 ^円	30,587,113 ^円	11,617,867 ^円	183,754,061 ^円
諸	爲 替	取 組 高		支 拂 高		
		164,977,991 ^円		159,442,539 ^円		
手	荷 爲 替	取 組 高		取 立 高		
		26,523,032 ^円		35,679,152 ^円		
形	他 所 割 引 及 代 手	取 組 高		取 立 高		
行	株 式 會 社 藝 備 銀 行	紙 屋 町	株 式 會 社 不 動 貯 金 銀 行 廣 島 支 店	大 手 町	目 黒 町	
	株 式 會 社 廣 島 縣 農 工 銀 行	上 流 川 町	株 式 會 社 第 一 銀 行 廣 島 支 店	大 四 手	目 黒 町	
	株 式 會 社 廣 島 合 同 貯 蓄 銀 行	同	株 式 會 社 川 崎 第 百 銀 行 廣 島 支 店	革 屋 町	堀 川 町	
	株 式 會 社 備 南 銀 行 廣 島 支 店	橋 本 町	株 式 會 社 十 五 銀 行 廣 島 支 店	堀 川 町	堀 川 町	
	株 式 會 社 備 南 銀 行 大 手 町 支 店	大 手 町	株 式 會 社 安 田 銀 行 廣 島 支 店	平 田 屋 町	堀 川 町	
	株 式 會 社 日 本 銀 行 廣 島 支 店	水 主 町	株 式 會 社 鴻 池 銀 行 廣 島 支 店	播 磨 屋 町	堀 川 町	
	株 式 會 社 三 十 四 銀 行 廣 島 支 店	大 手 町	株 式 會 社 藤 本 銀 行 廣 島 出 張 所	塚 本 町	堀 川 町	
	株 式 會 社 三 井 銀 行 廣 島 支 店	革 屋 町	株 式 會 社 山 口 銀 行 廣 島 支 店	中 島 本 町	堀 川 町	
	株 式 會 社 住 友 銀 行 廣 島 支 店	紙 屋 町			堀 川 町	

手 形 交 換	年 次	一ヶ年交換枚數	同 上 金 額
	昭 和 五 年	366,897 ^枚	238,356,552 ^円
	昭 和 四 年	377,635	311,938,685
	昭 和 三 年	354,897	248,304,693

郵便貯金	年次	預入	拂戻	年末現在		
	昭和五年	14,831.684 ^円	14,303.862 ^円	17,278.595 ^円		
	昭和四年	14,141.512	11,503,814	13,647,732		
	昭和三年	12,340.240	10,368,465	11,398,125		
振替貯金	年次	振替金額		拂戻金額		
	昭和五年	3,723,795 ^円		5,802,556 ^円		
	昭和四年	3,706,871		5,868,282		
	昭和三年	4,681,230		4,897,846		
郵便爲替	年次	振出		拂出		
	昭和五年	5,466,401 ^円		7,974,306 ^円		
	昭和四年	5,624,414		9,212,365		
	昭和三年	5,585,671		9,518,076		
質屋貸金	年次	店数	貸出高	受戻高	流質高	年末現在
	昭和五年	151 ^店	6,346,650 ^円	3,006,859 ^円	767,634 ^円	2,572,157 ^円
	昭和四年	168	1,101,418	1,190,478	112,915	472,872
	昭和三年	174	1,533,648	815,792	119,702	598,154

農 業

農 業——本市ニ於ケル農業戸數七、二一八戸人員一一、八七三人ニシテ主ナル農産物ハ蔬菜（一ヶ年産額一、八四七、二二五圓）米（一ヶ年産額二七一、九三二圓）麥（一ヶ年産額一九六、一〇五圓）果實（一ヶ年産額三八一、七三二圓）花卉（一ヶ年産額二九〇、〇〇〇圓）盆栽（一ヶ年産額二三二、〇〇〇圓）其他（一ヶ年産額七九一、五六二圓）計四、〇一〇、五五六圓ナリ畜産物ハ一ヶ年搾乳八〇九、四一四立其ノ價額一七九、四八

○圓ニシテ乳牛頭數ハ二九七頭ナリ

大正九年一月市農會ヲ設立シ爾來順調ナル發達ヲ遂ゲ特ニ蔬菜園藝地トシテ中國第一ノ稱アリ

農 業 戸 數			農 業 者			農 業 地		
專 業	兼 業	計	專 業	兼 業	計	自 作 地	小 作 地	計
3.045	4.173	7.218	5.757	6.116	11.873	8,058.554 ^{平方米}	7,049.995 ^{平方米}	15,108.549 ^{平方米}
種 別	作 付 反 別		收 穫 高		價 額			
米	5,202.646 ^{平方米}		2,674.476 ^立		271.932 ^円			
麥	6,191.183		3,463.867		196.105			
其他農產物	?		?		2,091.225			
飼 畜 頭 數	牛		馬		豚		山 羊	
	計		計		計		計	
	783		838		2,849		55	
	4,525							
家 禽	飼 養 戸 數		家 禽 數		產 卵 數			
	5,758		218,586		23,150,455			
牛 乳	搾 取 所 數		乳 牛 頭 數		搾 乳 高		價 額	
	17		297		809.414 ^立		179.480 ^円	
屠 殺	屠 場 數		種 類		頭 數		數 量	
			牛		17,207 ^頭		3,616.635 ^斤	
			犢		54		1,852	
			馬		127		19,137	
			豚		1,647		99,897	
			計		19,035		3,737,521	
家 畜 賣 買	牛		馬		豚		計	
	12,877 ^頭		35		—		12,952	
	40						1,567,580	

水 産

水 産——本市ニ於ケル昭和五年末水產業戸數一、四二八戸人員三、〇五二人ニシテケ年ノ產額澁海苔二九四、七四六圓鰯六二、三九八圓黑鯛一一五、六〇五圓鰯一二七、五三六圓牡蠣三七五、六六四圓鰯四四、八八〇圓其他三二七、四〇〇圓計一、三四八、二二九圓ナリ

大正十二年六年市水産會ヲ設立シ水産業ノ向上發達ニ努力中ナリ

漁業戶口	區 別	戶 數	漁 業 者	
			男	女
	本 業	793	1,005	812
副 業	635	652	583	1,235

漁 獲 物	魚 類	貝 類	其 他	計
	457,595 ^円	611,234 ^円	279,400 ^円	1,348,229 ^円

水產製造物	種 別	數 量	價 額
	澆 海 苔	65,015 ^斤	294,746 ^円
	煮 乾 鰯	99,188	60,835
	蒲 鉾 其 他	1,525,451	975,378

交 通

道 路——道路ハ昭和五年末ニ於テ延長六九四、九二八米其ノ面積二、四一二、〇四〇平方米ニシテ内國道ハ一一、八六七米縣道ハ二四、二五八米其ノ他ハ市道ナリ

國道ハ本市ノ中央ヲ東西ニ貫通シ縣道ハ南北ニ二線相通セリ

橋 梁——桥梁ハ鐵橋六鐵筋混凝土九木橋九木及鐵筋混凝土混合橋一ニシテ

延長ノ最モ長キハ御幸橋ノ二〇七米ニシテ常磐橋ノ一七一米之ニ次グ而シテ其ノ幅員ハ二十二米乃至三米ナリ

鐵道——鐵道ハ市ノ北端ヲ東西ニ通過セリ而シテ糸崎驛ヨリ廣島驛ニ開通セシハ明治二十七年六月ニシテ廣島徳山間ハ明治三十年九月ノ開通ニ係レリ廣島驛ヨリ吳ニ通ズル線ハ明治三十年十二月ノ開通ニシテ距離二六軒宇品線ハ明治二十七年八月軍用鐵道トシテ廣島驛宇品間ヲ新設セラレ其後貨客運輸ニ使用中廢止セラレシモノナリシガ昭和五年十二月ガソリンカーニ依リ之レガ運轉ヲナスコトナレリ其ノ距離僅五軒ナリ藝備鐵道ハ本市ヨリ安藝、安佐、高田、雙三ノ四郡ヲ經テ比婆郡庄原町ニ通ズ距離八九軒ヲ有シ大正十二年十二月開通セリ廣島、横川、已斐、東廣島ノ各驛ニ於ケル昭和五年中ノ乗客數ハ二、八四一、五五八人降客三、〇四六、七八五人ニシテ平均一日乗客七、七八五人降客八、三四七人ナリ

宮島電車——已斐町ヲ起點トシテ佐伯郡大野村ニ至ル其ノ延長哩數十三軒ニシテ大正十五年七月開通セリ車輛數一五輛ニシテ運轉軒數八〇四、六三七軒已斐驛乗客數二、七一四、六四五人一日平均七、四三七人ナリ

廣濱電車——從來可部軌道ニ依リ運輸ナセシヲ昭和三年十一月電車トシテ横川可部間ノ開通ヲ見ル其ノ軒數十三軒餘車輛數七輛ニシテ乗客數九九七、二二三人運轉軒數五四〇、三八九軒ナリ

軌道——軌道ハ明治四十二年六月廣島瓦斯電軌株式會社ヲ創設シ大正元年十一月開通セリ其ノ延長ハ一三軒餘ニシテ停留所四一箇所車輛一〇輛本年客乘二三、五七〇、六六〇人ニシテ平均一日六四、五七七人ナリ

船舶——(宇品入港船舶)——宇品港ハ本市南端ニ突出セル築港ニシテ明治十七年起工シ同二十二年竣工セリ昭和五年中ニ於ケル宇品入港船舶ハ四〇、九五四艘ナリ

棧橋——(通行人員)——棧橋通行人員ハ乗船一七一、三四〇人上陸一四七、二三八人ナリ

本市ハ太田川ノ下流ニ位シ太田川ハ六派ニ分レテ市内ヲ貫流スルガ故ニ水源地方及廣島灣ヨリ出入スル貨物ノ輸送至便ナリ

宿屋		旅人宿		下宿屋		旅人宿泊人員		一宿泊人均員	
		261		99		223.176		611	
宇品港入港船舶	區別	汽船		帆船		計			
		船數	登簿噸數	船數	登簿噸數	船數	登簿噸數		
	貨客船	30.297	2.325.227	10.043	?	40.340	?		
	漁船	37	271	524	56.370	561	?		
	避難船	—	—	53	2.150	53	2.150		
計		30.334	2.325.227	10.620	?	40.954	?		
汽船乘降客		乘客		降客					
		171.340		147.238					
鐵道	廣島驛	2.137.352				2.354.241			
	横川驛	125.901				109.393			
	己斐驛	399.385				410.891			
	東廣島驛	178.920				172.260			
電車		電車數		乘客數		賃金		運轉軒數	
		110		26.285.305		1,400.416 ^円		5,715.437 ^{キロ}	
諸車		自動車	自轉車	人力車	荷車	荷馬車	其他	計	
		491	28.646	143	7,508	458	1	37.247	
郵便	郵便局	電信局 取扱	公衆電報 取扱所	電話局	電話交換局	電話通話局	公衆電話	郵便函	
	41	11	3	—	2	9	21	229 私 14	
郵便	區別		普通		書留		價格表記		計
			通常通		通常通		通常通		通常通
	通常郵便物		引受	41,711.976	591,549		21,914		42,325.439
			配達	34,537.921	584,165		21,366		35,143.452

郵	小包郵便物	區 別	普 通	書 留	價格表記	計
		引 受	380,920 ^個	223,811 ^個	18 ^個	604,749 ^個
		配 達	280,270	156,901	—	437,171
	廣 告 郵 便 物 引 受		集 金 郵 便 物 引 受		集 金 郵 便 物 配 達	
便		通 一	61,366 ^通		27,767 ^通	
電 信	電 報	區 別	內 國	外 國	計	
		發 信	540,242 ^通	2,270 ^通	542,512 ^通	
		着 信	539,683	2,927	542,610	
電 話	電話加入者及電話機	加 入 者	電 話 機			
			通 常	卓 上	公 衆	私 設
		5,513	5,301	1,097	21	1,171

市會議員職員財政

議員、委員

議 員	區 別			議 員			選 舉 有 權 者					
	衆 縣 市	議 院 會 會		?			52.945					
				12			50.194					
				42			50.194					
學 委	務 員	土 委	木 員	都 調	計 畫 機 關	市 營 事 業 臨 時 調 查 委 員	功 勞 者 水 委	道 員	其 他	計		
	10		15		7		15		7	9	29	92

市吏員

市 長	助 役	收 入 役	主 事	技 師	視 學	市 醫
1	1	1	12	8	3	9

獸 醫	調劑員	書 記	書記補	技 手	產業技手	技手補	機 關 手	機關手補
2	1	208	30	39	8	2	5	—
掃除監督長		掃 除 監 督	掃 除 巡 視	守 衛		其 ノ 他	計	
兼	1	1	22	5		116	474	

財政

市 普 通 經 濟	年 次	歲 入	歲 出		一 戶 平 均 額		一 人 平 均 額	
			經常部	臨時部	計	歲 入	歲 出	歲 入
	昭和五年度	6,227,002	3,614,618	1,762,342	5,376,861	92,149	79,563	22,472
昭和四年度	5,797,312	3,547,456	2,072,141	5,619,597	86,708	84,050	21,209	20,559
昭和三年度	5,477,148	3,024,168	2,095,045	5,119,213	86,338	80,698	20,784	19,423

市 費 歳 入	年 次	財産 収入	使用料及 手数料	雑収入	前年度 繰越金	補助金	市 税	其 他	計
		円	円	円	円	円	円	円	円
	昭和五年度	16,096	725,944	51,174	177,714	25,895	3,105,563	2,124,616	6,227,002
	昭和四年度	19,240	739,845	139,182	462,305	132,841	3,279,450	1,024,446	5,797,309
	昭和三年度	19,710	751,094	95,812	610,265	116,181	3,016,607	866,838	5,476,507

市	年次	役所費	土木費	保健費	教育費	産業費	其 他	計
費 歳 出	昭和五年度	515.475 ^円	196.232 ^円	221.049 ^円	1,298.828 ^円	35.374 ^円	3,109.903 ^円	5,376.861 ^円
	昭和四年度	563.334	175.982	223.019	1,071.993	34.325	3,545.943	5,614.596
	昭和三年度	476.360	137.586	164.781	875.871	10.555	1,565.786	3,230.939

諸 稅 負 擔	區	別	稅	額	現在戶數一戶=付	現在人口一人=付
	國	稅	3.466.382	円	51.296	12.509
	市	稅	3.105.563	円	45.598	11.207
	計		6.571.945	円	97.254	23.717

市 債	教 育	産 業	土 木	保 健	上 水 道	其 他	計
	円 1,746,939	円 —	円 43,000	円 62,847	円 1,394,449	円 645,115	円 3,892,350

市 有 財 產	14,779.808
部 落 有 財 產	310.885

官公衙其他

[illegible]

廣 日 帝 帝 廣 廣 廣	本 國 本 國 國 國 國	赤 婦 難 水 鳥 鳥 鳥	十 人 救 濟 社 聯 鳥	借 會 員 救 濟 社 合 修	社 廣 掖 字 救 濟 會 保 道	支 島 濟 後 島 協 護 道	部 支 會 支 部 會 會 院	基 千 千 縣 宇 縣 縣 廣 所 大	町 田 田 廳 品 廳 廳 刑 賀 賀	廣 廣 廣 廣 福 樂 廣	島 島 島 島 島 石 島	育 保 修 養 海 民 廣 放	兒 護 養 老 外 致 鳥 送	院 院 院 院 會 會 部 局	尾 千 尼 廣 縣 福 田 上	長 田 長 瀨 廳 島 中 川	町 町 町 町 町 町 町 町
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--	--	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

保 險

大阪海上火災保險株式會社	廣島駐在所	石見屋町	東京海上火災保險株式會社	廣島代理店	下中町
大倉組保險部	廣島駐在所	八丁堀	中央火災保險株式會社	廣島代理店	大手町八丁目
神戸海上運送火災保險株式會社	廣島駐在所	國泰寺町	千代田火災保險株式會社	廣島駐在所	田中町
橫濱火災保險株式會社	廣島駐在所	猿樂町	東京火災保險株式會社	廣島駐在所	幟町
第一火災保險株式會社	廣島出張所	幟町	京都火災保險株式會社	廣島出張所	吉島町
太平火災海上保險株式會社	廣島出張所	八丁堀	朝日海上火災保險株式會社	廣島出張所	水主町
昭和火災保險株式會社	廣島駐在所	鷹匠町	明治火災保險株式會社	廣島代理店	斜屋町
大北火災株式會社	廣島駐在所	段原町	新日本火災海上保險株式會社	廣島支社	幟町
大正海上火災保險株式會社	廣島駐在所	大手町一丁目	中外火災海上保險株式會社	廣島出張所	宇品町
大福海上火災保險株式會社	廣島駐在所	平塚町	三菱海上保險株式會社	廣島出張所	鹽屋町
福壽火災狂險株式會社	廣島駐在所	水主町	富國火災保險株式會社	廣島出張所	京橋町
帝國火災保險株式會社	廣島支店	天神町	太平洋海上火災保險株式會社	廣島支部	白鳥西中町
帝國海上運送火災保險株式會社	廣島駐在所	西白鳥町	日本動產火災保險株式會社	廣島支部	國泰寺町
共同火災保險株式會社	廣島駐在所	鹽屋町	日本簡易火災保險株式會社	廣島分店	幟町
日本海上保險株式會社	廣島駐在所	下柳町	日本共立火災保險株式會社	廣島出張所	鹽屋町
日本火災保險株式會社	廣島出張所	大手町四丁目	東京動產火災保險株式會社	廣島出張所	中町
豐國火災保險株式會社	廣島支店	尾道町	日本生命保險株式會社	廣島支店	大手町二丁目
東邦火災保險株式會社	廣島駐在所	下中町	日清生命保險株式會社	中國支社	大手町四丁目
東神火災保險株式會社	廣島出張所	中島新町	日本徵兵保險株式會社	廣島支部	播磨屋町

日本教育生命保險株式會社廣島支社	幟 町	大正生命保險株式會社廣島支社	幟 町
日本共立生命保險株式會社中國支部	堀 川 町	第一徵兵保險株式會社廣島支店	上流川町
日本醫師共濟生命保險株式會社廣島支部	南竹屋町	第一生命保險相互會社廣島支部	紙 屋 町
日華生命保險株式會社廣島支部	大手町三丁目	八千代生命保險株式會社中國支社	東魚屋町
仁壽生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目	福壽生命保險株式會社廣島支部	西魚屋町
蓬萊生命保險相互會社廣島支部	上流川町	富士生命保險株式會社中國支店	平田屋町
東洋生命保險株式會社中國支店	猿 樂 町	福德生命保險株式會社廣島支部	八 丁 堀
東海生命保險相互會社廣島支部	播磨屋町	壽生命保險株式會社廣島支部	銀 山 町
東華生命保險株式會社廣島支部	中 町	國光生命保險相互會社廣島支部	細 工 町
常磐生命保險株式會社廣島支部	研 屋 町	帝國生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目
千代田生命保險相互會社廣島支部	大手町二丁目	愛國生命保險株式會社中國支部	大手町四丁目
中央生命保險相互會社廣島支部	猿 樂 町	共保生命保險株式會社廣島支店	袋 町
片倉生命保險株式會社中國支社	京 橋 町	安田生命保險株式會社廣島支店	革 屋 町
加奈陀サン生命保險株式會社廣島支店	東魚屋町	有隣生命保險株式會社中國支部	堀 川 町
橫濱生命保險株式會社廣島支店	猿 樂 町	明治生命保險株式會社廣島支店	袋 町
太陽生命保險株式會社廣島支社	八 丁 堀	三井生命保險株式會社廣島支店	紙 屋 町
大同生命保險株式會社中國支店	紙 屋 町	住友生命保險株式會社廣島支部	紙 屋 町
太平生命保險株式會社廣島支部	斜 屋 町	國華徵兵保險株式會社廣島支部	大手町四丁目
大安生命保險株式會社廣島支社	大手町三丁目	富國徵兵相互會社中國出張所	大手町三丁目

新 聞 社

藝 備 日 日 新 聞 社	大手町二丁目	廣 島 日 日 新 聞 社	八 丁 堀
中 國 新 聞 社	上流川町	吳日日新聞社廣島支局	尾 道 町
廣 島 每 日 新 聞 社	尾 道 町	廣 島 新 聞 社	銀 山 町
大阪朝日新聞社廣島通信局	研 屋 町	廣 島 日 報 社	中 町
大阪毎日新聞社廣島支局	紙 屋 町	關門日日新聞社廣島支局	大手町七丁目
大阪時事新報社廣島支局	天 神 町	中 國 民 報 社	大手町四丁目
山 陽 新 報 社 廣 島 支 局	大手町八丁目	村 木 新 聞 廣 島 支 局	三 篠 町

名 所 舊 蹟

廣島城趾——天正年間國守毛利輝元此地ヲ相シ、黒田孝高ノ設計ニ遵ヒ家臣二宮就辰ヲ奉行トシテ天正十七年經始シ、文祿二年エヲ竣レリ慶長五年毛利氏封ヲ長門周防ニ徙サル、ヤ福島正則之ニ移リ、後元和五年淺野長晟紀州ヨリ入ツテ安藝ノ全部並ニ備後ノ八郡ヲ領シ傳ヘテ十二代長勳ニ至ル淺野氏ノ此ノ城ニアリテ治スル事實ニ二百五十有餘年ナリ、明治四年ニ至リ鎮西鎮臺第一分營ヲ此地ニ置カレ、現在ノ第五常團司令部是レナリ而シテ其後破却或ハ燒失シテ舊態ヲ失ヒ依然トシテ存スルモノハ僅カニ天主閣ト内壕トニ過ギズ、天主閣ハ五層ニシテ高サ三三米基礎東西二二米、南北一六米アリ、巍然トシテ高ク雲間ニ聳エ、甚ダ壯觀ヲ呈ス此城ハ別ニ鯉城ト呼ビ又泰磨城ト稱セリ昭和三年十月ヨリ一般觀覽ヲ許サル

大本營跡——舊廣島城内本丸城趾ニアリ、元第五師團司令部ナリシガ明治二十七年清國ト干戈ヲ交ユルヤ同年九月十五日、畏クモ明治大帝大轟ヲ此地ニ進メサセ給ヒ、同所ヲ行在所ニ充テサセラレ翌年四月二十七日マデ萬機ヲ此所ニ統ベサセ給ヒシ遺跡ニシテ實ニ千古不磨ノ一大記念ト謂フベシ、今ヤ縣廳ノ管理ニ屬シ嚴重ナル警護ノ下ニ行宮嚴然當時ノ様ヲ保存シ衆庶ノ拜觀ヲ請フ者絶エズ

舊御便殿——廣島市ノ東部比治山上ノ北部ニ位シ明治二十七八年戰役ノ際大轟ヲ廣島ニ進メ給ヒ第七回臨時帝國議會ヲ召集シ廣島西練兵場内ニ假議事堂ヲ建設セラレ其ノ奥ニ御便殿ノ設ケアリシガ最モ粗造ニシテ棟二五米梁九米ニシテ中央玉座ノアル處ハ僅カニ四十疊(六六平方米)ニ過ギザリ會議會閉會ト共ニ建物不用ニ屬シタルヲ以テ此御便殿ハ本市ノ一大記念トシテ明治三十二年七月廣島市會ノ決議ニヨリ拂下ヲ受ケ後比治山公園ノ新設ト相俟テ同四十一年エヲ起シ同四十二年エヲ竣ヘタリ其ノ構造ハ宮殿型ニシテ最モ壯麗ヲ極メ棟三三米梁一三米ニシテ御便殿ヲ其ノ内ニ移シ以テ永遠不朽ヲ圖レリ庶民ハ洪大無疆ノ聖德ヲ偲ビ參拜スル者常ニ絶エズ

大正元年九月明治天皇御大葬儀ニ付青山葬場殿ニ御使用セラレタルモノノ内第二神門、眞榊、鐙、提燈、黃白旗ヲ同二年三月二十五日東京市ヨリ譲リ受ケ眞榊ハ柵内ニ植エ御神門ハ御便殿前ノ廣場ヘ建設シ其ノ他ハ祭日等ニ配列シ一般ニ參觀セシムルコトトシ一層神嚴ヲ極メリ

饒津神社——二葉山ノ麓ニアリ舊廣島藩主淺野家ノ太祖贈從三位彈正少弼淺野長政夫妻贈從三位淺野幸長、贈從三位長晟ヲ祀リ敷地約二、八一八平方米ヲ有シ社殿ハ天保六年從四位上少將安藝守齊肅祖先追孝ノ爲メ造營セラレタルモノニシテ結構宏壯ナリ西ハ神田川ノ清流ニ臨ミ背後ハ綠樹鬱蒼タル二葉山ヲ負ヒ頗ル雅致ニ富ム明治五年二月縣社ニ列セラル

東照宮——尾長山ノ中腹ニアリ正保年中舊藩主淺野光晟ノ創建セル所ニシテ徳川家康公ノ靈ヲ祀ル境域五、二五六平方米アリ社殿ハ南方ニ向ヒ石階五十一級アリ往時ハ結構壯麗ヲ極メ祭儀盛大ナリキ同境内ハ土地閑靜且ツ老松鬱蒼タルアリ石階ノ下參道ノ兩側ニ櫻ノ並木及藤ノ棚アリ暮春ノ候ニ至ラバ紫總恰モ纓絡ノ如ク又賞遊ヲ試ムルニ足ランカ

國泰寺——小町白神社ノ東隣ニアリ曹洞宗ニシテ僧惠瓊ノ開基ニ係リ文祿年間朝鮮木ヲ以テ諸堂ヲ建立ス後年三回ノ祝融ニ會ヒ舊時ノ觀ナシト雖モ堂宇壯大ニシテ境内ニ豐國神社アリ豐公遺髮ノ塔及赤穂義士大石良雄ノ室石東氏及同三男大三郎ノ墓アリ香煙常ニ絶ユルコトナク殊ニ近時市内有志ノ發企ニテ赤穂義士追遠塔ノ建設アリ當寺ハ淺野家ノ菩提寺タリ寺後ニ淺野氏數代ノ墓墳アリ塋域幽閑櫻樹多ク又數百年ヲ經タル老樟ノ鬱蒼タルアリ

明星院——二葉ノ里ノ一隅饒津神社ノ東南ニアリ眞言宗月光山大日寺ト號ス天正十七年毛利輝元ノ建立ニシテ本尊ハ千手觀音ナリ慶長五年榮鏡法印中興セリ往時此處ニ大伽藍アリ淺野氏ノ祈願所ナリシモ維新後頗ル廢頽シ明治三十五年廣島人八木新兵衛自カラ資ヲ投ジテ堂宇ヲ再建シ稍々舊觀ニ復シ境内櫻樹多シ又赤穂浪士四十七義士ノ木像ヲモ安置セリ

誓願寺——材木町ニアリ淨土宗紫雲山光照院ト稱ス惠空上人ノ開基ナリ抑モ建立當時ノ由緒ヲ尋ヌルニ天正九年ノ頃毛利輝元京都本山誓願寺ノ住職惠空上人ニ歸依シ當國高田郡吉田ノ邑ニ居住セシム同十七年廣島城建築ノ時扈從シテ當廣島ニ來リ當寺ヲ開創シ翌十八年十月本堂落成ス時ニ正親町天皇ノ勅詔ニ依リテ本山誓願寺ニ傳來スル處ノ天智天皇御宸筆寺號ノ額ヲ賜ハリタリ而シテ現在ノ本堂ハ元祿元年五月當寺第九並辨空上人ノ再建スル所ニシテ堂宇壯大、境域九、九一七平方米ヲ算シ境内ニ小池アリ池畔ニ嚴島神社ヲ勸請シ毎年嚴島神社管絃祭當日ハ參拜者多ク殷賑ヲ極ム

本派本願寺廣島別院——寺町ニアリ市内唯一ノ大伽藍ニシテ長祿三年甲斐國ノ住人僧正信ノ創建ニ係リ當時佛護庵ト稱シ天台宗ナリシモ後龍原山佛護寺ト改ム明應五年眞宗ニ改メ安藝國小本山ノ別名アリ明治三十五年十一月本派本願寺廣島別院トシ同時ニ堂宇ヲ改築セリ

國前寺——尾長町尾長山ノ麓ニアリ日蓮宗自昌山龍華樹院ト號シ曆應三年僧日像ノ開基ニシテ本尊ハ久遠本師釋迦牟尼佛ナリ往古曉忍阿闍梨ノ庵ニシテ曉忍寺ト稱セシモ明曆三年國前寺ト改ム門前ニ日像船繫松アリ

覺法寺(阿彌陀如來)——矢賀町ニアリ本寺ノ由來ハ往古眞言宗城谷山覺法寺ト稱シ中古燒失ノ難ニ罹リ諸記錄燒失シ創立年月不詳ナルモ慶長元年住職釋了證改宗シ眞宗トナリ舊寺號覺法寺ヲ以テ寺號ト爲シ開基セルモノナリ

福藏寺——古田町古江ニアリ淨土宗ニシテ本尊地藏菩薩ハ僧行基ノ作ニシテ孕婦ヲ護ルトテ里俗尊信スルモノ夥シク其ノ効顯最明ナリ境内ニハ梵字ヲ彫リタル五輪石塔及石碑アリ「蒲冠者範賴之墓享保十八年淺野直道造立」ト刻ス傍ニ小祠アリ之ヲ蒲社ト云フ尙眺望佳良ナルヲ以テ年中遊ブルモノ多シ

日通寺(本尊釋迦如來)——日蓮宗ニシテ牛田町字上神田ニアリ舊藩主淺野長綱公志願ニ依リ元祿五年賀茂郡國近村天台宗阿彌陀寺ヲ當町ニ引移シ改

築改號ノ上菩提所トセラレタルモノナリ、土地閑靜ニシテ太田川ノ清流ニ面シ四季枝ヲ曳クモノ絶エズ

不動院(本尊藥師如來)——眞言宗ニシテ牛田町字新山ニアリ行基菩薩ノ作ニシテ北朝人皇第九十七代光明帝朝願ニ依リ利生塔御建立ノ所ナリ、秀吉公以來傳來ノ梵鐘ハ國寶ニ指定セラル、太田川ノ清流ニ歸帆ヲ眺メ春ハ櫻夏ハ瀧秋ハ茸狩、紅葉狩、一日ノ行樂地トシテ賽客跡ヲ絶タズ

泉 邸——上流川町ニアリ元和五年淺野長晟入國ノ翌年此地ニ邸第ヲ營ミテ庭園ヲ修メ爾後世々ノ國守其ノ庭池ヲ擴メテ修理ヲ加ヘ二百七十餘年ヲ經テ以テ今ノ淺野長勳ニ至レリ園庭ハ支那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮景園ト號ス、廣サ三九、六六九平方米、太田川ヲ挾ミ斜ニ二葉山、向陽山ト相對シ岸ニ閘門ヲ設ケテ河水ヲ泉池ニ引ク中ニ池アリ、小島絶壁アリ溪アリ湍アリ自ラ深山ノ景趣ヲ備フ庭内清風館ハ座シテ全景ヲ望ムベク景致多趣ノ名園タリ明治二十七年車駕行幸アリ構内ニ淺野家ノ家寶ヲ陳列シ一般ニ觀覽セシムベキ觀古館ノ建物アリ

旭山神社——弘治元年七月朔日毛利元就陶晴賢ト嚴島ニテ合戰ノ砌リ元就郡山ヨリ出陣ノ道スガラ此ノ山ノ八幡宮ヘ參拜シ御祈願中朝日昇天ス、元就此ノ社ヲ旭山八幡宮ト稱セシ由申傳フ、之ヨリ此ノ山ヲ旭山ト稱ス神社ニハ土井百穀翁ノ請願ニ依リ有栖川宮熾仁親王殿下「旭山神社」ト御眞筆シ給フ奉納額アリ、參詣路ニハ數百本ノ櫻樹ト數十本ノ楓樹アリ、瞰下スレバ數百本ノ老櫻樹ト數段歩ノ遊園地ヲ包有セル絶佳園アリ眺望佳良花候ニハ杖ヲ曳クモノ雜沓セリ

三瀧ノ觀音——三篠町ノ西北翠巒滴ル新庄山ノ山腹ニアリ大同年中僧空海此ノ附近ニ巡錫ノ砌リ當山ニ御立寄り自然石ニ聖觀音ノ梵字ヲ彫刻サレ本尊トセリ觀音御堂ハ鬱蒼タル樹間青苔ノ蒸ス邊巨巖怪石ノ上ニ据エラレ其ノ巖石ノ隙間ヨリ自然ニ三瀑ヲナスモノニシテ甚ダ奇ト云フベシナズケテ雄瀧雌瀧駒ケ瀧ト云フ、盛夏一度此ノ境ニ入ルヤ慄然栗ヲ生ジ人ヲシテ世ノ

溽暑煩熱界ト一鴻溝ヲ隔テ仙郷ニ遊ブノ想アラシム春日ノ山櫻、躑躅、秋日ノ楓滅醉紅冬日ノ飛沫綴珠一ニ清娛優遊ノ科ナラザルナク四時枝ヲ曳クモノ絡繹トシテ殆ンド虚日ナク加之ニ觀音ノ靈驗著シテ常ニ參詣ノ信者勸カラズ

男崎神社——矢賀町ニ在リテ帶中隆日子命、品陀和氣命、息長帶日賣命ヲ祭神トセルモノニシテ信者勸カラズ

比治山公園——市内段原町ニアリ、山容恰モ虎ノ臥シタルガ如ク臥虎山ノ稱アリ山高カラズト雖樹木鬱蒼シ楓躑躅ニ富ミ山嶺ノ眺望亦佳絶ニシテ四時枝ヲ曳ク者多シ殊ニ山頂ヨリ西面スレバ市街ノ約八分ヲ俯瞰シ南面スレバ宇品港ヲ眼下ニ集メ更ニ右スレバ江波ノ漁村ヲ望ミ遙カニ廣島灣ノ風光ヲ賞スベシ往昔ノ老松ノ間ニ白鶴ノ棲メルヲ見シト聞ケド今ハ全ク其ノ姿ヲ見ズ

江波山公園——市街ノ西南端ニアリ三方繞ラスニ海ヲ以テシ山上望海風景ノ雄大ナルハ筆紙ニ盡シ難ク北ハ市内ノ全景ヲ双眸ニ集メ東ハ宇品港及比治山ヲ眺メ西ニ己斐、草津、嚴島ハ指呼ノ間ニ點綴ス、安藝ノ小富士ノ佳景ヲ望ムガ如キハ眞ニ天下ノ絶景ト稱スベシ

大内越道——本市ヨリ中山、馬木、福田等ヘ往來スル山路ニシテ昔府中村ノ城主白井備中ヲ大内義隆ガ攻メシ時此ニ砦ヲ置キ且戰略トシタルガ政ニ名トス

三 本 松——猿猴橋ノ東尾長町國道筋ノ南側ニアリ豊太閣朝鮮征伐ノ際多クノ松樹ヲ栽エシモノ後三本ノミ殘リシヲ以テ此ノ名アリト傳フ往時藩主ノ參觀交代アルヤ當時留守居ノ諸士此處ニ於テ送迎セリト

高須桃山——古田町高須ニアリ老木其數二十數萬本面積六十町歩ニ涉リ國道ニ沿ヒ電車自働車ノ便アリ明治三十五、六年頃ヨリ植栽セシモノニシテ開花季ニ至レバ全山花ナラザルハナク萬山紅ト化シ霓雲ノ如ク金波ノ如シ而シテ海ニハ帆船ノ島嶼ヨリ出ヅルアリ入ルアリ汽船ハ一條ノ噴煙ヲ殘シツ

ッ島ニ其ノ影ヲ奪ハル、アリ其ノ風景筆上ニ表スル能ハズ爽心清氣自ラ湧
キ一日ノ遊園地トシテ最適地ナリ開園セシハ大正四年ニシテ昭和二年林中
ニ上野ガーデンノ設置ヲ見之ガ完備ト共ニ觀客頗ル多シ

鶯宿園 (草津梅林)——天保五年ノ開園ニカカリ前面ハ廣島灣ノ絶景ニシテ
遠ク周防ノ峰巒淡靄ニ霞ミテ靜カニ眠リ身ハ飄然トシテ無限ノ仙境ヲ迎ル
ヲ覺エシム園内ニハ老松幾千株紅白濃淡媚妍トシテ濃香芬々茶寮ハ其ノ間
ニ點綴シ花影ノ楚々タル眼下ニ展開スル内海ノ美景ト相俟テ觀賞措ク能ハ
ズ諸般ノ設備ト共ニ近時益々繁盛シ初春ノ交ニハ詩人墨客ノ杖ヲ曳クモノ
絶エズ

城山古壘——仁保町ニアリ城主ニツキテハ種々ノ説アリ即白井越中ノ居城ナ
リト云ヒ或ハ三浦兵庫ノ居所ナリトモ傳ヘ又三浦兵庫ノ居所ナリシモ毛利
ノ家臣香川左衛門光景ノ城番ナリトモ云ヒ三浦兵庫元貞ノ居城ナリシトモ
云フ、戰國ノ世軍事上極メテ樞要ノ地位ニアリ嚴島、櫻尾、草津ト共ニ藝
備沿海ノ中心地點トナリ又吉田ヘ入ルノ門戸ニ當レバ其ノ傳説甚ダ多シ又
仁保島合戰、嚴島合戰等傳説多シ然レドモ今ハ唯老松ト山形ヲ殘スノミ

大芝公園——三篠町ノ東端太田川ノ清流ニ沿ヘル堤防數町ノ間ニアリテ春ノ
眺メ、秋ノ景最モ佳ナリ園内數百本ノ櫻樹ハ近年樹幹生長シ陽春開花ノ候
對岸長壽園ノ櫻花ト其ノ妍ヲ相競フテ紅霞飄飄ニ浮カル、觀客頗ル多ク
園内ノ中央ニ明治二十七八年、明治三十七、八年、大正三、四年等ノ戰死
者、從軍者ノ爲メニ建設セル戰後記念碑アリ

八勝莊園 (向洋梅林)——仁保町赤田山西端ニアリ澤田別莊八勝莊附屬ノ梅
林ナリ丘阜ノ南ヨリ頂上ニ及ブ傾斜ノ地ヲ拓キテ梅樹數百株ヲ栽フ槎枒蟠
屈花時ニハ高低相映シ滿山皆白ク馥郁トシテ人ノ肌膚ニ沁ム眺望絶佳眞ニ
八勝ノ名ニ背カズ、曾テ明治二十七、八年戰役ニ際シ時ノ内閣總理大臣伊
藤博文伯ガ兵馬倥傯ノ間廣島市寓所ヨリ特ニ駕ヲ枉ゲテ清遊ヲ試ミタルモ
ノ故ナキニアラズ

大正十一年頃ヨリ花時開園スルコトトセリ

太宰原天満宮——二葉ノ里ニアリ太宰原ノ起源ハ菅公筑紫ニ左遷ノ砌リ船ヲ
此處ニ寄セテ憩ハセ給ヒ其ノ後太宰府ヘ遷ラレタルヲ以テ其ノ名アリト且
ッ同所ニ當時菅公ノ植エラレタル梅樹アリ長ジテ花開キ實ヲ結ブニ至リ里
人其ノ實ヲ採リテ食フニ苦クシテ食フ能ハズ爾後之ヲ拾ハントスルモノナ
シト其ノ後此ノ實ヲ植栽シテ僅カニ其ノ一本ヲ殘セルガ今社殿ノ背後ニア
ルモノナリト傳フ、又同所ニ菅公ノ腰掛石トモ云ラモノアリ現在ノ祠ハ此
上ニ建立セラレアリ

新天地——大正十年九月堀川町ニ活動寫眞常設館、劇場、娛樂場、賣店等
ヲ經營シ以テ新天地ト稱セリ此地タルヤ日夜歡樂ノ人出多ク常ニ殷賑ヲ極
ム

宇品山——宇品山國有林ハ宇品島ノ大部分ヲ占メ面積二十五ヘクタールニ
シテ暖帶固有植物ヲ藏スルコト地方稀ニ見ル所ナルノミナラズ老樹巨木鬱
々トシテ貴重ナル林相ヲ成セリ從來航行目標學術考試保護林トシテ禁伐保
護ヲ加ヘ來リシガ政府ハ民衆保健ノ増進ヲ圖リ且ツ學究ノ便ニ資セントノ
趣旨ヲ以テ大正十五年甫メテ之ヲ公開シ新ニ步道ヲ拓キ或ハベンチ休憩所
ヲ設クル等一般ノ散策行樂ニ任ゼリ一度此ノ山ニ來遊センカ瀬戸内海ノ風
光一眸ノ裡ニ集リ晝尚暗キ大樟樹林ハ珍草奇木ヲ蔽ヒテ徐ロニ原始林ノ感
ヲ生ゼシム其ノ名植物ニ名稱性状用途ノ標札ヲ附セル蓋シ其ノ用意ノ周到
ナルヲ見ル昭和三年一月十三日農林省告示第三號ヲ以テ保安林ヲ解除セラ
ル

廣島縣廳——明治十一年水主町ニ建築シタルモノニシテ構内廣ク縣會議事堂
アリ武德殿及廣島縣立病院相隣シ名園與樂園ハ其裏ニ續キ春季最モヨシ

廣島市廳——中島新町ニアリシガ狹隘ノ爲メ國泰寺町ニ宏壯ナル廳舎ヲ新築
シ昭和三年四月移轉セリ

廣島縣立商品陳列所——元安川相生橋畔 (セセツション) 式ノ宏壯洋館ハ
大正四年五月ニ新築セルモノナリ館内ニ縣下物產ヲ蒐集陳列シ各地物產及
外國品ヲモ陳列シテ一般ノ參考觀覽ニ供シ商品ノ取引斡旋ヲ計リ商工業界

ヲ指導シ館内ニ圖書室ヲ設ケ商品カタログ集メ以テ其ノ便ヲ計レリ

廣島商工會議所——明治二十四年一月中島新町ニ創立シタリシガ明治四十一年一月猿樂町ニ新築移轉セリ初メハ廣島商業會議所ト稱セシガ昭和三年一月一日ヨリ廣島商工會議所ト改稱ス然シテ時勢ノ進運ニ伴ヒ商工業者ヲ指導誘掖シ地方實業界ノ爲メニ努力シ種々ノ施設ハ將來大ナル發展ヲ見ルニ到レリ

廣島市屠場——福島町ニアリ廣島市ノ經營ニ依リ規模宏大ニシテ大正三年煉瓦石造建築物トナシ諸設備ハ獨逸製機械器具ヲ採用シタル最新式全國唯一ノ屠場タリ

廣島市常設家畜市場——福島町西堤防山手河畔ニアリ大正三年一月ノ開場ニシテ廣島市ノ經營ニ係リ毎日市場ヲ開キ家畜ノ改良集散ニ便セリ

上水道水源地——牛田町ニアリ明治三十一年八月通水式ヲ舉ゲ其後二回ノ擴張工事ヲ行ヒ面積九八、一四九平方米トナリ沈澱池、砂溜池、量水池、取水送水唧筒室等ヲ設備シ其ノ通水狀況ハ全國水道中優良ナル成績ヲ示セリ

廣島文理科學大學——千田町ニアリ昭和四年四月開校セラレタルモノニシテ文科理科ニ分レ廣島高等師範學校構内ニ在リ

廣島高等師範學校——千田町ニアリ明治三十五年ノ開校ニシテ文科、理科教育科ニ分ツ構内ニ附屬中學校、同小學校、圖書館アリ同校南隣ニ博物館ヲ併置セリ

廣島高等工業學校——千田町ニアリ電氣、應用化學、機械鑄造ノ四科ニシテ嶄新ナル設備ヲナス

廣島高等學校——皆實町ニアリ文科、理科ニ分チ規模頗ル大ナリ

廣島縣立女子專門學校——昭和三年四月設立開校セラレシモノナルモ未ダ校舍建築セラレザルタメ今ハ廣島縣立高等女學校構内ニ在リ

宇品港——本市南端ニアリ港内水深ク且ツ暴風波ノ害ヲ受タル事ナク常ニ巨艦、大船ノ出入繁ク中國航路ノ要衝ニシテ又大連航路ノ寄港地タリ

吳軍港、及ビ嚴島ハ指呼ノ間ニアリテ數多ノ島嶼亦點在シ風光絶佳ナリ此ノ地タルヤ明治十七年縣令千田貞曉ノ發起ニヨリ同二十二年十一月二、〇七六、四四二平方米ヲ埋立竣工シタルモノニシテ明治二十七八年、同三十三年、同三十七八年、大正三年等ノ戰亂ニ際シ軍隊糧食ノ輸送港トシテ大ナル利便ヲ與ヘタル良港ナリ

千田男爵銅像——宇品町ニアリ縣令千田貞曉宇品築港ニカフ盡シ以テ竣工ナリタルガ故ニ此レヲ記念スベク大正四年十一月建設セシモノナリ

廣島驛——本市ノ東部大須賀町ニアリ明治二十七年六月十日開通建築シ粗造ノモノナリシガ大正十一年改築シ内外共ニ美觀ヲ呈シタル中國ノ一大停車場トナレリ

紙屋町電車交叉點附近——本市ノ中央部ニ位シ市内ノ電車ハ此地ヲ基點トシ東ハ廣島驛西ハ横川驛及ビ斐驛南ハ宇品港ニ通ズル交通ノ要點タリ常ニ自動車及人馬ノ復往多ク殷賑ヲ極ム

第一軍戰死者記念碑——西練兵場ノ一隅ニアリ碑身ハ砲彈ニ擬シ高サ一メートル明治二十七八年戰役ノ戰死者七二六名ノ爲メ明治三十三年ニ建設セルモノナリ

本川橋——中島本町ヨリ塚本町ニ架セルモノニシテ天正年間加藤兼銀（通稱ヲ猫屋九郎左衛門）之ヲ架設シタルヲ以テ猫屋橋ト稱セリ明治三十年長サ七三米、幅七米ノ鐵橋ニ改築ス同橋ノ下流東岸堤防上ニハ櫻樹ヲ植エ花時夜間ニハ提燈ヲ吊ス俗ニ東本川ノ櫻ト稱シテ當市ニ於ケル一美觀タリ

元安橋——市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル鐵橋ニシテ工費七二、〇〇〇圓ヲ要シ體裁優美堅牢ナリ附近一帶ハ市ノ中央ニ位シ商家軒ヲ列ネ車馬絡繹織ルガ如ク此地ヲ里程元標トセリ

御幸橋——市内千田町ヨリ皆實町ニ架設セラレ工費四〇〇、〇〇〇圓人造車道ニ區別シタル鐵橋ニシテ幅二二米長サ一六二米四ヲ有スル市内最長ノ橋梁ナリ

廣島縣立廣島工業試驗場——大正八年東白島町ニ設置セラル、主トシテ化學工業、食品工業及染織、メリヤス工業等ニ關シ化學科（化學工業部、化學分析部）食品課（罐詰試驗部、製菓試驗部）染織課（染織試驗部、メリヤス試驗部）ニ分類シ試驗、鑑定、分析等ニ從事シ當業者ヘノ指導ヲナシ縣下工業界ニ助長セル所甚ダ多シ

廣島縣立農事試驗場已斐分場——明治三十五年五月已斐町中央ニ位セル宇横田ニ農事試驗場本場トシテ創設セラレシモノニシテ其後明治四十三年四月本場ヲ賀茂郡西條町ニ移サレ分場トナル主トシテ蔬菜、果實、花卉及盆栽ノ試植改良等ノ研究ヲナシ傍ラ地方當業者ノ實地指導又ハ研究會、當業者生産即賣會等ヲ催シ農業界ニ貢獻セル所甚大ナリ遠近ヨリ視察者多數アリ花卉期及果熟季等ニ於テハ見學者絶ヘズ

廣島縣立水産試驗場草津支場——大正十二年十二月草津町西南岸ニ創立セラレシモノニシテ水産物ノ試殖及研究ヲナシ傍ラ地方水産業者ノ實地指導ヲナシ水産界ニ貢獻スル所多大ナリ

廣島市立衛生試驗所——大正十五年十一月船入町ニ創立セラル、主ナル試驗項目ハ 一、細菌血液其他醫事衛生 一、衛生相談及身體檢查 一、上水其他水質檢查 一、飲食物及嗜好品 一、藥品化粧品其他理科學等ニシテ衛生上貢獻セル所大ナリ

名 物 及 物 産

牡蠣——牡蠣ハ古來本市ノ特産品ニシテ其ノ品種他地方ノ物ニ比シ肉肥大風味美ナルヲ以テ名アリ本市江波町及ビ仁保町、草津町沖ニ養殖シ且ツ同地住民ハ冬季舟ヲ遠ク大阪及ビ下關方面ニ艤シテ種々牡蠣料理ヲ營業セルヲ以テ牡蠣船ノ名聲高シ尙牡蠣罐詰牡蠣エキストシテ廣ク全國ニ移出セリ本市一ケ年ノ産額二四一、二五六圓ヲ算セリ

海苔——海苔モ亦牡蠣ト同ジク江波町、仁保町、草津町沖ニ盛ニ養殖シ寒氣凜冽ノ候ニ採取シ之ヲ漉海苔トナシテ九州、大阪、京都其他各地方ニ移出ス其ノ産額一ケ年二九四、七四六圓ヲ超ヘ名聲アリ

柿——生柿ハ主トシテ市ノ北部ナル安佐郡地方ニ於テ産出セルモノヲ本市ニテ乾柿トナシ東京、大阪、九州其他廣ク全國ニ移出セラル形美濃柿ニ似テ稍太ク味最モ美ナリ近來のし柿、柿羊羹等ヲ製ス

鮎——鮎ハ北郡部ヨリ流レテ本市ヲ圍繞セル太田川ニ棲息セルモノヲ漁獲スルモノニシテ生魚ノ外乾鮎、小判漬、糟漬、鮎うるか等トナシ各地ニ移出セリ

廣島菜——廣島菜ハ本市特有ノ農産物ニシテ實ニ三百年來ノ歴史ヲ有シ其名天下ニ洽ク京菜又ハ平莖ト云フ蓋シ其ノ初メ京都ヨリ到來シタルノ故ヲ以テ京菜ト稱シ莖ノ扁平ナルヲ以テ一名平莖ト名ケシモノナルベシ廣島ニ於テハ主トシテ京菜ト謂ヒ京都ニテハ之ヲ廣島菜ト唱フ其ノ特長ハ葉柔軟ニシテ纖維少ク殊ニ漬物トシテ香氣最モ嗜好ニ適シ永ク貯藏ニ耐ヘ風味ヲ損セザルニ因ル

白魚——白魚ハ本市ヲ洗フ太田川ノ下流ニテ漁獲セラル、モノニシテ生及ビ罐詰トシテ各地ニ移出セラル

罐詰——本市ニ於ケル罐詰ハ明治十三年ノ製造ヲ初メトシ爾來星霜ヲ重スルニ從ヒ幾多ノ改良ヲ加ヘ遂ニ優良ナル製品ヲ作り各地ニ輸移出スルニ至レリ其種類ハ牛肉ヲ主トシ蔬菜類、魚貝及海苔、果實等ニシテ一ケ年ノ産額約二、七三一、一四一圓ニ達ス

足袋——足袋モ亦古キ歴史ヲ有スレドモ明治二十年頃ヨリ漸ク發達ノ曙光ヲ顯シ逐年改良益々發達シ莫大小足袋、護謄底、信州底等ノ地下足袋ノ製造ヲ見ルニ至リ製品ハ各地ニ輸出セラレツ、アリテ一ケ年ノ産額四三一、六四〇圓餘ヲ示セリ

染手拭——形染ハ往昔ヨリ盛ニ行ハレ明治初年箱襦ヲ發明セン以來一時ニ

多數ノ生産ヲナシ得ルニ至リ且ツ染模様鮮明トナリシヲ以テ廣島染ノ名頗
ニ昇リ全國ニ移出スルニ至レリ一ケ年ノ産額四三〇、八一五圓ニ達セリ

晒木綿及染地類——晒木綿及染地類ハ文政年間本市新川場町 大和屋文五郎
ナルモノ木綿織物業ヲ開始シ漸時隆盛ニ趣キ現今ニ於テハ一ケ年ノ産額八
九二、八四五圓ニシテ山口、島根ノ近縣ニ移出ス

簞 笥——簞笥ハ寛永五年二宮太郎右衛門ト云フ者今ノ安佐郡福木村ヨリ
來リ那波屋彦右衛門ト改名シ本業ヲ開始セリ明治維新前後ハ前桐二重簞笥
ヲ以テ最上等品トセンガ漸時黒柿、桑、樺或ハ唐木等ヲ混用シテ上等品ノ
製作ヲ見ルニ至レリ斯クシテ明治四十一年本市主催ノ製產品々評會及明治
三十四年名古屋市主催ノ共進會ニ出品以來一層其ノ名聲ヲ高メ一ケ年ノ産
額一、〇三八、〇九〇圓ニ達セリ

傘——傘ハ本市ニ於ケル重要産物ノ一ニシテ其ノ起源ヲ探グルニ淺野舊藩主
紀州ヨリ當地ニ移リシ際紀伊國若山本町(今ノ和歌山市)ニ居住セル傘屋庄
右衛門及市郎右衛門ナル者同公ニ隨從シテ當地ニ來リ御傘ノ御用ヲ勤メ代
々藩ノ用命ヲ蒙リ居レリ之レ當地ニ於ケル傘製造ノ根源ナリ其後二百餘年
間ハ微々トシテ振ハザリシガ天保年間ニ至リ時ノ藩主大ニ獎勵ニ努メ其ノ
製作品ヲ買ヒ取り之ヲ江戸ニ回送シ大ニ好評ヲ博シ漸時盛大ニ趣キ降テ慶
應年間ニ至リ着色其他ニ改良ヲ加ヘ大ニ販路ヲ擴張セリ然ルニ明治二十年
頃ヨリ同業者相謀リテ組合ヲ組織シ粗製濫造ノ弊ヲ矯正シ輸入品ヲ防遏シ
得ルニ至リ大ニ廣島傘ノ名聲ヲ揚ゲタリ且ツ之ガ職工ノ技倆ニ至リテハ他
府縣ニ秀デタルヲ以テ彼ノ岐阜及愛媛縣ノ如キモ本市ヨリ職工ヲ雇傭シテ
傳授ヲ受ケ以テ今日ノ盛大ヲ來セルモノナリト云フ昭和三年ニ於ケル一ケ
年ノ生産額ハ四三〇、四五〇圓餘ニシテ其販路ハ大阪、福岡、朝鮮等ナリ

縫 針——縫針ハ本市特産品ノ一ニシテ之ガ元祖トモ稱スベキハ本市中島
新町朝見國造ノ祖先針元屋初五郎ナル者寛永元年長崎ニテ製針業ヲ習得歸廣
ノ上製造ニ着手セシヲ本市製針業ノ嚆矢トス爾後幾星霜ヲ經テ製針業者漸

次増加シ殊ニ維新以來一層販路ヲ擴張シ東京、大阪、京都地方ヲ主トシ全
國ニ涉リテ名聲ヲ博シ盛況ヲ呈スルニ至ル而シテ明治二十年頃「メリケン」
針ノ輸入ヲ見ルニ至リ手工製造ハ機械製造ニ轉ジ品質メリケン針ニ比肩シ
タレ共僅カニ内地ノ供給ニ止マリシガ歐洲戰亂ニ會ヒ斯業愈發達シ朝鮮支
那及南洋ニ輸出シ一進一退昭和四年ノ産額八七八、五七六圓ヲ示セリ

建 具——本市ニ於ケル建具ハ其ノ創業甚ダ古ク數百年前ニシテ明治維新
前マデハ交通機關不便ノ爲メ販路狹ク市内及近郡ニ限ラレシモ明治初年以
來交通ノ便開クルニ從ヒ次第ニ販路ヲ擴張シ現今ニ於テハ愛媛、岡山、山
口等ノ各縣ニ涉リ其産額一ケ年三六八、四二六圓ニ達セリ

紡績綿糸——紡績綿糸ノ製造ハ明治二十九年初メテ蟹屋町ニ中國紡績株式會
社ト稱シテ事業ヲ開始シ後大阪合同紡績株式會社ニ譲渡シ現ニ經營シツツ
アリ一ケ年ノ産額四、三三六、〇二〇圓ニシテ本製品ハ悉ク本店大阪ニ送
付ス

人造絹絲——本品ハ大正十年本市千田町ニ工場ヲ設ケ製造ヲ初メ漸次隆盛ニ
向ヒ一ケ年産額四、二〇〇、〇〇〇圓ニシテ本市生産品中最モ多額ヲ占メ
本品モ亦本店神戸ニ送付セリ

護謨製品——本品ハ大正十五年本市南竹屋町ニ中國ゴム株式會社工場ヲ設置
シタルヲ初メトシ爾來益々隆盛ニ向ヒ一ケ年ノ産額二、七一二、七五二圓
ニシテ販路ハ朝鮮、臺灣、四國、九州、島根等ナリ

製 綿——本市及本市附近ハ古來棉作地シトテ有名ナリ隨テ製綿ヲ業トセ
ル者續出シ文政年間廣瀬町奥久兵衛及猿猴橋町坪田鶴藏ノ祖先本業ヲ開始
セリト云フ尙本業ニ就テ沿革ノ概略ヲ記シテ參考ニ資セン
本業ニ關スル歴史ヲ探ルニ元和年間淺野公入城以來綿ヲ以テ國產タランメ
ント欲シ寛政年間民設綿改所ヲ藩ノ保護ニ歸シ之ヲ本市銀山町ニ置キ綿會
所ト稱シ(綿座改所又ハ綿改座トモ云ヘリ)藝備兩國ノ産綿ヲ審査精撰シ販
賣上大ニ利便ヲ與ヘ其後同所ニ於テ繰綿業ヲ創メ細民ノ婦女子ニ授産ノ道

ヲ與ヘ大ニ公益ニ資セリ斯クテ綿會所ノ審査ハ嚴正ナルガ故ニ品位ハ一層昂上シ賣買上ノ信用亦年毎ニ厚ク販路モ頓ニ開ケ移出隆盛トナリ安藝白封ノ名遠近ニ傳ハリ遂ニ有名ナル一物產トナレリ（審査濟ノ繰綿ハ白紙ヲ以テ封ヲ爲ス依テ白封ノ名起ル）尙同會所ハ單ニ綿ノ審査ノミニ止ラズ農商間ニ金融ノ道ヲ開カント欲シ綿預券ヲ發行シ荷主ハ現品ヲ會所ニ預ケ預券ヲ以テ賣買スルノ便ヲ得爾來金錢ノ貸借ハ此預券ニ依ルモノ頗ル多ク大ニ金融ノ流通ヲ助ケタリ明治五年廢藩置縣ニ際シ一旦閉鎖セントスルノ悲運ニ逢着セシモ當業者間ニ於テ感ズル所アリテカ之ヲ民有ニ移シ爾後益々事業ヲ擴張シタリ然ルニ明治三十六年八月ニ至リ當時ノ米綿取引所ヲ株式組織ニ變更ト同時ニ株式會社廣島米取引所ト改稱シ爾來綿ノ取引ヲ廢スルニ至レリ茲ニ於テ其ノ取引機關ハ中絶セリト雖民間ニ於テ直接取引セル數ハ實ニ夥シ今ヤ關西ニ於テ其ノ名ヲ博メ產額ノ如キモ約一、九五九、六〇〇圓ニテ販路ハ四國、山口縣下等ナリ尙之ガ精撰ニ付テハ古ヨリ明治十八九年頃マデハ打綿ハ専ラ弓打ナリシガ同二十年頃ヨリ箱機械ニ變更シ同三十八年頃ヨリ更ニ梳綿機ヲ應用スルニ至レリ

菓 子——本市ニ於ケル菓子製造ハ塚本町（家號ニ文字屋）大田源右衛門ノ祖先ニ文字屋源右衛門ナルモノ元和五年（今ヨリ約三百年前）舊藩主淺野公紀州ヨリ入城ノ際隨從シ來リ横町ニ居住シ専ラ御用菓子ヲ製造セシヲ嚆矢トス爾本塚本町ニ菊屋庄右衛門京橋町ニ平芳屋庄助堀川町ニ虎屋傳三郎ナルモノ製造ヲ開始セシ由ナルモ今ハ虎屋ヲ除ク外ハ其跡ヲ見ズ斯クテ維新前迄ハ本市ニ於ケル製造家ハ僅カニ十五六戸ナリシモ需要者ノ増加ニ連レ漸時同業者ノ數ヲ増シ現今ハ一九三戸ニ及ビ盛ニ營業ヲナシ前途頗ル有望ナリ而シテ維新前頃迄ハ燒物類ノ製造盛ニシテ之ニ次グモノハ砂糖物、蒸物、羊羹ノ類ナリシガ維新後ニ至リ更ニ乾菓子、押物（落雁）、生菓子、麵麴、洋菓子類花霞及落花生菓子等ノ製造ヲ見ルニ至レリ

燐 寸——本市ニ於ケル燐寸製造業ノ鼻祖トモ稱スベキハ本市細工町高坂萬兵衛ナリトス同氏ハ明治初年頃ヨリ西洋品輸入ノ數漸次増加スルヲ憂ヒ

燐寸ノ如キハ必須ノ日用品ナレバ輸入防止ト一面一大營利事業ナラント着眼シ之ガ製造ヲ企圖シ種々研究ヲナシ稍其ノ製法ノ緒ヲ得テ三名ノ同志ト組合組織ニテ本市船入村ニ快燈社ト稱スル工場ヲ設置開業セリ之レ實ニ明治十三年ニシテ本市ニ於ケル燐寸製造業ノ嚆矢トス然シテ幾多ノ困難ニ遭遇シタレ共佐伯郡吉和村ニ燐寸軸木製造所ヲ設ケ明治三十九年二月ニハ一箇人ニシテ本市段原町ニ樂全堂ト稱スル工場ヲ設ケ燐寸製造業ヲ再興シ専ラ硫黃燐寸ノ製造ニ從事シ主トシテ印度地方ニ輸出ヲ計リ歐洲產ニ比肩スルノ名聲ヲ得タリ同氏ニ亞ギ三川町ニ合資廣島油明會社觀音町ニ廣島觀榮合資會社起リタリシガ遂ニ合資廣島油明會社ヲ山陽燐寸株式會社ト變更シテ現ニ三川町ニ營業シツツアリーケ年ノ產額一五一、四七五圓餘ニシテ専ラ神戸ニ移出セリ

清 酒——本市ニ於ケル酒造家ハ往昔三原屋、海老屋、室屋等代々藩ノ御用ヲ勤メ居リシモ今ハ其ノ迹ヲ絶テリ而シテ現在ノ酒造家中其ノ創業ノ古キハ京橋町平野屋事松井亮吉ニシテ之ガ祖先ノ創業ハ寛永十一年同町繩屋事保田八十吉ハ元祿十年ノ創業ナリト之ニ依リテ考フルニ本業創始時代ハ少クトモ今ヲ去ルコト三百年前ニアリシコトヲ證スルニ足ルベク此ノ間ノ盛衰消長ヲ知ラントスルハ頗ル困難ナリト雖明治維新前迄ハ凶年ニ遭遇シ米價暴騰セシ場合ハ藩主ハ所謂御藏米ヲ供給シ酒造家ヲ援助セラルルト一方廣島城下ニハ他藩ハ素ヨリ郡部ヨリモ清酒ノ輸入ヲ嚴禁シ優等酒ニ對シテハ藩ノ御用ヲ命ゼラレ藩主自ラ酒銘ヲ授ケラルル等酒造ノ獎勵最モ盛ナリシト謂ヘリ斯クテ明治維新ニ於テ酒造家ノ數ヲ増シ且最モ盛ナリシ時ハ釀造戸數四十戸ヲ有シ當時ニアリテハ現今縣下ニ其名錚々タル賀茂郡地方ノ釀造酒ニ優リシコト數等ナリシト然ルニ明治維新後ニ至リテハ主トシテ兵庫縣灘酒ヲ好ムノ傾向アリシ爲メニ之ガ改良ニ意ヲ注ギ種々會議ノ上明治二十一年頃岩崎永助（現在ノ先代）保田芳太郎ノ兩人兵庫縣ニ赴キ灘地方ノ各酒造家ヲ歴訪シテ實地ヲ見聞シ其後灘ヨリ杜氏ヲ招聘シ容器器具等ニ至ルマデ杜氏ノ言ニ從ヒ新調シ當時中島本町岩崎永助ノ酒造場ヲ試驗場ニ

充テ盛ニ試験ヲナシタルモ風土水質等ノ異ナル廣島市ニ於テ灘釀造法ヲ其ノ儘採テ應用シタル拙劣ハ何等得ル所ナカリキ然レドモ一回二回ノ失敗ハ反テ成功ノ素因トナリ其後改良ニ考案ヲ重ネ長足ノ進歩ヲナスニ至レリ一方賀茂郡ノ如キハ本市ニ於ケル試験ノ失敗ニ鑑ミル所アリテ是又其後種々ノ考案ヲナシ改良ノ實ヲ舉ゲ杜氏ノ產出地トシテ縣下ニ雄飛スルニ至レリ

釀我廣島市ニ於テハ今ヤ賀茂郡地方其他ト相俟テ年々相繼グ品評會共進會等ニ於テ賞牌褒狀等ヲ授與セラレ殊ニ明治四十二年ノ全國酒類品評會ニ於テハ全國中第一位ノ優等成績ヲ舉ゲ其ノ名聲ハ灘酒ヲ壓セントスルノ盛況ヲ呈シ特ニ明治三十一年廣島酒造組合ノ設立ヲ見ルヤ一層其ノ面目ヲ革メ將來益々有望ノ地位ニアリーケ年ノ產額五〇九、一一〇圓餘ニシテ東京及縣下ニ移出ス

洋 服——本市ニ於ケル本業ノ元祖ハ明治五年ノ創業ヲ有スル本市大手町二丁目津村良平ニシテ明治五年前ハ専ラ和服仕立ヲナシ居リシモ時勢ノ變遷ニ連レ洋服裁縫ヲ思ヒ立チ京阪地方ヨリ洋服ヲ購入シ之ヲ手本トシテ種々研究ノ結果同年十數着ヲ試製セシモ其拙劣ナルコト今ヨリ考フレバ殆ンド兒戲ニ類スルノ感アリ同年本市ニ廣島鎮臺ノ設置セラルルニ際シ軍隊被服裁縫場ノ設置ト共ニ職工長ニ採用セラレ苦心研鑽シ大ニ得ル所アリシト次デ本業ヲ開始セシハ横町吉本榮ナリトス明治十年頃迄ハ本業者ハ僅ニ四戸ニ過ギザリシモ同二十七八年日清戰役當時ヨリ需用俄ニ増加シ京阪人ニシテ熟達セル職工ヲ引連レ來廣開店スル者續出シ本市ニ於ケル本業ノ面目ヲ革メタリ

抑々洋服ハ明治二十七八年戰役前マデハ着用者ハ軍人、官吏、學校生徒ノミニ限ラレタル感アリシモ逐年着用者増加ニ伴ヒテ同業者モ亦増加シ殊ニ日露戰役當時ヨリ一層激増シ現今ハ百三十八戸ノ多キニ及ビーケ年ノ生産一、四六三、七九〇圓ヲ示シ山口、福岡縣下ニ移出セリ

里 程 表

自 廣 島 市 至 東 京 市						自 廣 島 市 至 下 關 市					
驛 名	哩 數	一等	二等	三等		驛 名	哩 數	一等	二等	三等	
廣 島	—	—	—	—	—	廣 島	—	—	—	—	—
西 條	31.8	1.50	1.00	0.50		宮 島	21.8	1.05	0.70	0.35	
糸 崎	74.4	3.51	2.34	1.17		大 竹	36.1	1.71	1.14	0.57	
尾 道	83.5	3.93	2.62	1.31		麻 里 布	41.4	1.98	1.32	0.66	
福 山	103.6	4.71	3.14	1.57		柳 井	74.5	3.51	2.34	1.17	
笠 岡	118.2	5.28	3.52	1.76		下 松	102.2	4.62	3.08	1.54	
岡 山	161.9	6.96	4.64	2.32		德 山	110.2	4.95	3.30	1.65	
姫 路	250.5	9.81	6.54	3.27		三 田 尻	136.7	6.00	4.00	2.00	
神 戶	305.3	11.55	7.70	3.85		小 郡	154.5	6.72	4.48	2.24	
大 阪	338.4	12.48	8.32	4.16		宇 部	179.8	7.53	5.02	2.51	
京 都	381.2	13.59	9.06	4.53		厚 狹	189.6	7.86	5.24	2.62	
彦 根	442.9	15.21	10.14	5.07		小 月	204.1	8.31	5.54	2.77	
關 ヶ 原	471.0	15.93	10.62	5.31		長 府	210.3	8.49	5.66	2.83	
岐 阜	498.5	16.59	11.06	5.53		下 關	224.0	8.94	5.96	2.98	
名 古 屋	528.8	17.28	11.52	5.76							
靜 岡	714.6	21.33	14.22	7.11							
國 府 津	828.8	23.64	15.76	7.88							
横 濱	877.7	24.57	16.38	8.19							
東 京	906.5	25.11	16.74	8.37							

備考 本表賃金ノ外ニ急行料金(急行ニ乗車ノモノ)ヲ要ス (別表)

急 行 料 金

等	級	四 百 料 迄	八 百 料 迄	八 百 一 料 以 上
一	等	2.00	3.00	3.75
二	等	1.30	2.00	2.50
三	等	0.65	1.00	1.25

昭和七年四月十五日印刷

昭和七年四月二十日發行

廣 島 市 役 所

廣島市塩屋町十二番地

印刷者 增 田 計 雄

廣島市塩屋町十二番地

印刷所 株式會社 增田兄弟活版所



陽明廿五廿四半分新開

計陽廿五廿四半分新開

陽明廿五廿四半分新開

陽明廿五廿四半分新開

陽明廿五廿四半分新開

陽明廿五廿四半分新開

陽明廿五廿四半分新開

